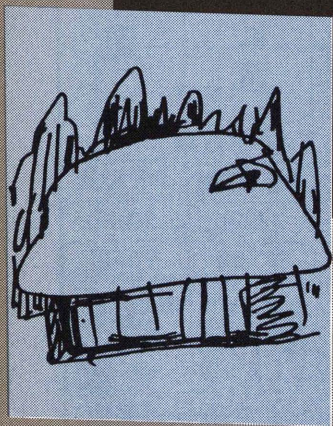


幼児の教育

第五十一卷

第二號

日本幼稚園協會



2

紀

フレーベル館の保育圖書と資材

<p>發行所</p> <p>株式會社 フレーベル館</p> <p>振替東京 一九六四〇番</p>	<p>日本幼稚園協會 幼稚園お話集 上・下二巻</p>	<p>高橋さやか先生 保育のための文學</p>	<p>副島ハマ先生 折紙教本</p>	<p>小木曾光先生 産聲より歌うまで</p>	<p>西山・奈街・佐藤・柴野先生 子供にさかせるお話集</p>
	A5各210頁	B6 172頁	B6 214頁	B6 166頁	A5 181頁
	各 200円	130円	200円	200円	180円
	千各24円	千18円	千20円	千18円	千20円
	改訂増補版 を多行の 先の大評 てしたの を訂正し 増補した 版の	幼児生活の 学性に深 入りこれ を基礎と する	日本古來の 紙のやさ しさを幼 児におし える	産聲より歌 うまでの如 く音楽的に 音で教える べきか	日本児童文 学協会の中 西氏が書下 ろした珠玉 のお話集
	増子とし先生 リズム遊び	長田新先生 フレーベルに還れ	及川ふみ先生 たのしいおしごと	及川ふみ先生 えとぬりえ 全二冊	お茶の水女子大 学附属幼稚園 試案 幼児指導要録 記入の手引
	B5 62頁	B6 260頁	B5 16枚	B5 各16枚	A5 52頁
	200円	130円	45円	35円	35円
	千18円	千18円	千8円	千8円	千8円
	著者が権リ 面斯威たる を界に教育 拓く一著の 好新者の	幼児保育の 神はフレ一 ルにふれし る求むべし る熱論とす	新技教育に う新生面を 横骨の成果 者	発売以來大 のら好評を 御しぬりえ の本	指導要録記 すにつきい 示唆する

東京都千代田区神田神保町二ノ四

幼 児 の 教 育

第五十一卷

第 二 號

昭和二十七年二月

目 次

表 紙.....	中 川 紀 元
常に親しく幼児に接する人々.....	倉 橋 惣 三…(2)
(ヌース) ころろ湯ヶ原幼稚園.....	及 川 ふ み…(4)
農 村 と 都 市 の 保 育	
農村幼児の保育(1)	根 岸 草 笛…(6)
都市幼児の保育.....	浦 水 桔 梗…(14)
ソヴェートの就学前教育	小 川 正 通…(20)
アメリカ童話から(15)	松 原 至 大…(26)
ア メ リ カ だ よ り	相 場 均…(43)
日教組第一回全国教育研究大会参加記.....	山 下 俊 郎…(40)
冬期における幼児の保健問題	広 瀬 興…(32)
絵本に関する調査について.....	宮 内 孝…(44)
(官廳公示連絡事項)	
小学校学習指導要領社会科篇の改訂	(50)
会 か ら	(52)

編 集 主 幹

倉 橋 惣 三

協 力 委 員

牛 島 義 友

及 川 ふ み

斎 藤 文 雄

多 田 鉄 雄

波 多 野 完 治

山 下 俊 郎

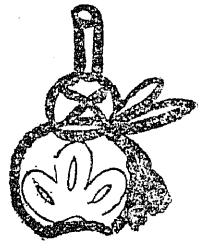
編 集 委 員

西 山 浪 太 郎

(五十音順)

発 行

日 本 幼 稚 園 協 會



常に親しく幼児に接する人々

— 保育界の中心実力 —

倉 橋 惣 三

實際保育者、もつと端的には、直接保育者ともいおうか、自ら常に親しく幼児に接している人々こそ、保育界の中心実力である。すなわち幼稚園教諭、保育所保母、その人々にこそ、幼児達は、真実に保育せられ教育せられているのである。

保育を行政的によく進展させ、経営的に正しく運転させている園長、管理者、その他の官庁の事務職員の方の大きいのは勿論である。又、その人々の企画力が、實際保育の上に影響するところ大きいのも勿論である。しかし、事務的にいくら有能な企画者があつても、画家を待たずしては美術界は存在し得ない。又、音楽家を待たずして音楽界は成立し得ない。劇芸術の場合においては個々の俳優の外に、優秀な演出者を必要とする。しかも、その場合と雖も、プロデューサーだけで、舞台も映画も実演せられない。これと同じくという訳でもないが、幼児の保育も自ら親しく保育する人々によつ

てのみ実行せられ、保育界の真の実績も挙がり真の水準も上がる。

素より幼稚園でも保育所でも、一人々々の保育者が保育しているだけでなく、施設総体が保育しているのであり、多種の影響力はよつて成遂せられてゆくものであるから、優れたシナリオライターと周到なプロデューサーの合力を敬重しなくてはならぬ。しかし、それらの重視を以て、一人々々の實際保育者の重視以上におくことは^辯ぜられない。一人々々の實際保育者に実力のない保育界は、空な^空単位の総合の如きものであるともいえる。

行政者・事務者が、充分尊重せられるべきは、實際保育者の実力を充分發輝させる意味においてである。それが偏して、實際保育者よりも、行政者・事務者が保育界の優位者とせられることには、認識の混乱が無いといえない。しかも、

從來、そうした認識の誤りが世にないといえない。かくいうは、秩序の論理的必要と實際的円滑の理を掛けようというものでは勿論ないし、況んや、反動反撥の低級なる現代社会病を助長しようとするものでは、決してない。又、デモクラシーの理論をもち出して来て、この主張をするものでもない。たゞ、常に自ら親しく幼児に接する人々こそ、眞実の保育者であるという、論ずるまでもなく常識を新たにしているに他ならない。だから従つて、どこまでも常識のすなおから脱逸してはならないと共に、常識に反することは決して正しいとし難い。若し實際保育者を、教育行政者の雇傭者視することがあつたら、此の常識に反する。保育者としてその業に従事しているものを、單なる勞役者として視ることがあつたら、此の常識をみだる。勤務は服務の規律によつて系統の上下がある。しかも、保育者は一人々々が、保育者としての自主に生きているものである。これは、保育者の人權というような一般論からいつているのではなくて、保育者たるものゝ個性の尊重においていわれることである。教育者は總てそうである。上からの命令を重んずること絶對である。軍隊においても、散兵の一人々は、散兵線の規律を守ると共に、自らを以て闘うものであると昔から教えられていた。保育は勿論戦闘ではない。しかし、保育も亦、保育者の自主の愛を以てする活動であり、個性の活きた發露である。敢て、保育者の尊嚴とか保育者の權利などいもないが、保育はわが事であ

る。わが事をわが事とする自尊と、わが事とさせられる自由なしに、その人の保育も活きず、その園の保育も充實せず、その園の保育も發達しない。同じことが、教育界において考へられなければならないが、保育界においても同一である。かくてこそ、保育者は、自ら勞することを自ら楽しみ、その業（保育）に常に自ら忠實である。だから、親もその保育に信頼し、国もその保育を依頼し、幼児も實際に親しく保育せられるのである。實際保育者は他から雇われて役目として保育しているものではない。

『すべての幼児』のため、（前号巻頭）ということとは、企業と行政に當るものゝすべてに、常に心として貰いたい祈りである。しかも、より功実な祈りは、『すべての實際保育者』が自主と個性の眞実の保育者であることである。若し、行政者・事務者がその我執や、便宜から、『すべての幼児』を忘れるようなことがある時でも、『すべての實際保育者が、すべての幼児のために』協力の心を失わず、連合の和を失わない時、『すべての幼児』のための祈りは実現せられるであろう。日々に親しく幼児に接している實際保育者こそ保育界のたのみである。そういう實際保育者こそ、一匹の迷える小羊をも見のがさないのでみならず、よきかこいに導くことを忘れないであらう。しかも、その各のかこいはそれ／＼のよさを具備すると共に、その境は春草につながり、春風相通うている。



こころ温い

湯ヶ原幼稚園

及川 ふみ

*

秋のはじめ頃に天下の名湯、湯ヶ原温泉地にある湯ヶ原幼稚園の母の会に招かれた。入湯にかけて目のない自分であるから快諾してその日の来るのを楽しみにまつて居た。この地は両側が山にせまつた川沿いの狭い温泉町であるところから幼稚園はそれのどんな場所に建てられてあるのかしらなどと考えてもいた。湯ヶ原ゆきの当日は駅までお出迎え下さつた牧野先生の後についてバスを降りた。橋を渡つて石坂を降りると、川ぶちの崖の間をたくみに利用して建てられたささやかな幼稚園である。対岸の高層な温泉旅館の櫓比するのに比べて凡そ大きなへだたりのある感じが強かつた。しかも狭い場所に建てられてあるので、唯一の保育室の上には、梯子で昇り降りする職員事務室があり、石段を昇つてゆく遊園がある

という工合で、立体的な幼稚園の施設である。ここで遊ぶ幼児たちは、一日の幼稚園の生活の中にいく度か保育室や遊園を昇つたり、降りたりすることとてさぞ健脚なお子さん揃いになるであらうなどと思われた。当幼稚園設置基準などについて考えられている時ではあるが、どんなに狭い場所にも幼児たちのためにという強い熱意がもり上げばまず幼稚園の誕生といふことになるものであらう。

忙しい土地柄であるのにお母さん方も定刻に集つていて下さつてお役にも立たない自分の話に熱心に耳をかたむけて下さつた。この後でお母さん方の間に一人一人のお子さんたちのお話がはずんだ。その中の一人髪を無造作に束ね、じみな簡粗の上着に、もんぺ姿の年配のお母さん「私の家の子供は男の子ですが毎日幼稚園から帰ると山に遊びにいつて靴でも、下駄でも、草履でも満足に両方揃つてはいで帰ることがなく。いつも幼稚園へびつこなはきものばかりはいて来ても平気でいて困ります」というお尋ねがあつた。「お元気でよいですね、寒くないというちは素足でもよいでしょう。遊びに夢中になつてはき物がじやまになるのでしようから遊び始めにはき物をぬぐこと、ぬいだ場所をよく覚えておくこと、片びつこのはきものはかない様にするなどとお母さんと先生とお子さんと三人で相談の上で約束してみてもどう

でしよう」などお答えしておいた。そのあとこのお母さんは「まだ今日の仕事があるからお先に失礼する」と挨拶されて途中で帰つてゆかれた。地下足袋をはいて石坂をのぼつて帰られる後姿を見送つた。忙しい大切な仕事を休んでわざわざ今日の集りに参加されたことを一入うれしく感じた。一応母の会が終つて梯子を昇つて職員室で幹事のお母さんと先生方とでお茶をいただいた。さつきの地下足袋のお母さんについて、はきものことから又その他のことでもこの町に住む方の様にも思われなかつたので牧野先生に事情を伺つてみた。

「あのお母さんはいつの母の会にも必らず出席なさる熱心な方であるということを前提に、次の様なことを話して下さつた。」

お家は二十分以上も歩いて通う山の中腹にある。お子さんが多くて、近年この地に移り住んで来た方で、家も素人が建てた様な簡易なもので両親は百姓仕事をしている。幼稚園では月月の保育料その他の費用を一切免除している、両親は幼稚園の特別の厚意に対して両親が労力奉仕で感謝している。などのことでこの湯ヶ原幼稚園で又一つ思いがけない心あたたかいいものを感じてうれしかった。夕やみせまる温泉町を牧野先生方と下りながら話はんばも山の母子の上につづいた。それは十一月の東京上野の動物園の遠足のことであつた。

幼稚園で母と子遠足の企てがあつて、園長先生は勿論始めからこの山の母子を誘つてその出費の負担は自分でもつことにきめてとの話であつた。ところが山の母さんはこれに参加することを大變に喜んだ上、かねてよりこんな時のために貯えがあるから汽車賃その他は御世話にならなくてもよいとの事であつた。ただ着物は仕事着だけであるからどなたかのをお借りしたいという事であつた。しかし着物は幼稚園であつせんしないうちにお母様方の間で手頃なものが間にあつたらしくて、下駄だけ新調して晴れの全園揃つての遠足が秋の快晴の日に楽しく進められた。実にたのしい。うれしい遠足であつた事を話された。話される牧野先生も、亦それを聞く自分も心うれしさで一ぱいであつた。この度の湯ヶ原入湯によつて名実ともににもこころもあたためられたことをしみじみ感じさせられた。

この頃にも幼稚園の実情にうとい人たちの間では、幼稚園はぜいたくなものであり、豊富な家庭の子女のためのゆくべきところであるという古い觀念をもつて現代の幼稚園の実体とうとい人がある時にこの園と山の母子の楽しい幼稚園の真の姿をこゝにしるしておきたい。

湯ヶ原幼稚園の園長柏木英雄さんは温泉旅館を経営されている篤志家である。多忙な本職の間をこの町の幼児たちのために幼稚園をつくられている。

農村 幼児の保育 (一)

一 根 岸 草 笛

(一) 農村生活と幼児

目 次

- 一、幼児の遊び場について
- 二、家庭で与えられている玩具について
- 三、家庭で与えられている遊具について
- 四、家庭で与えられている絵本について
- 五、家庭にある楽器について
- 六、家庭でされる童話について
- 七、睡眠の習慣について
- 八、幼児が哭いた時の躰け方について
- 九、散髪剃顔の習慣について
- 一〇、入浴の習慣について

幼児と云えば誰しもが、初なりの桃のように軟らかな頬、けしの花卉を思わせる赤い唇、絶えず新しい驚きと欣びに輝いているつぶらな瞳、そうした

愛くるしさと美しさを想像して、人種国境イデオロギーなどの大人の世界の激しい相剋もしばし打ち忘れ、たゞひとすじにその幸福を祈りたい気持ちに駆

られることでありましょう。

そして、最近の都市生活に於いては、児童憲章や児童福祉法に依つてその幸福が約束されている幼児者達の生活が、或程度まで理解され尊長されるようになつて参つたと申してよいと考えられます。

けれども農村に於ける現実には、私達の理想よりいまだ遙か程遠くて、相変らずよき保育どころか多くの場合保護する者もなく、特に農繁期に際してはおしつこと鼻汁に塗れた小さな生命の危険さえ過重な勞働にさまたげられて、見過ごされ放任されがちな状態にあります。と申しましても勿論農村の

人達もひとしく人の子の親にてあれば、我が子いとしさの情に愛りがあろう筈もございませんが、つい四五日前にもこんな例がありました。

私の或る友人の医師の許に農村の幼児が子守役の祖父に連れられて来ましたが、病名は慢性の中耳炎で、既に鼓膜が破れて膿が流れいで、悪臭を慕つた蠅が群つてくるような病状です。従つてどんな名医でも手遅として聴覚をとり戻す術はないので、「お氣の毒ですが」とその由を告げました所そのお爺さんは世にも悲愴な顔をして、「この子が始めて耳が痛いとき夜哭した時隣りの婆さんが飛び起きて来て、つわ路の葉っぱが耳いたにええというのですぐつけた。なんだもようならおらなんだで哭いたら、向いの父つづあがにらの汁がええというたですぐつけた。それでもまだようならなんだで分家のおじがどくだみがええといつたで又もんでつけた。木挽きの勝蔵がりすの黒焼きがええといえはすぐ飲ませ、豆

腐屋のおばが、かやの実の油がええといえばかやの油をつけ、お手つぎさんの坊んさんが、六三に当つているといわしやれば六三の厄も除けて貰い、人のええということあ一つもらさず一切しただに、何で又おが孫の耳が潰れただあ、こんげなこつたら稲の五十や百刈らんでも、早よう医者どんにくればえかつたあ」と何時までも何時までも搔き口説いてから漸く重い足どりで帰宅したそうです。

このお話を聞いた時、農村の人達が有史以来の変動のあつた終戦後にも、いまだに見失わずに持ちつづけている善意というものに、思わず微笑みたくなりしましたけれど、その一面に、只善意だけでは子供達の幸福を護るどころか、反対に損ねる場合もある。「メスをあてたら痛かるう」とか「傷跡が残る」とかという小さな思いやりや労りあい、素人治療やおまじないに走つたために、却つて不具の子を一人つくりだして仕舞いました。

もつと智性の伴つた善意と、厳しい愛情の自覺を積極的に促さなくてはと、憤りに似たものを強く感じさせられましたが、これは結局母の過労と父の無責任に依ることが多いのでありまして、農閑期中は家庭や近隣社会においても、いずれも幼きもの、いとけなきものとして、一応の保護と愛情は与えられていますが、農繁期になれば幼児の幸福まですべて、米や藪やその他の収獲物の代金に見返えられて仕舞うのであります。

又農閑期になつても大体は放任か育愛か或いは邪魔もの扱いにしているかで、幼児の發達を理解して適切な指導をなす家庭は極めて少ないのでありまして、稀に子供の喧嘩に親まで出て来て争うようなことがあつても、それは親達同志の感情のもつれなどを、それをきつかけに吐き出し合うというようなことが多くて、真実幼児者達の将来を憂いてするというようなのは僅かでありす。

従つて悪い遊びをしている子供達を見付けても、他人の子供を叱つてやるような親切をPTAの幹事のように持ち合せている人が、農村にあつたらその人達は天然真球のように貴重な存在だと思ひます。

そこでこのような環境の中に育てられてゐる農村の幼児の生活の実態はどうか、という調査の結果を少し申し上げて見たいと思ひます。

それにつぎまして私に与えられた当面の問題は「農村幼児の保育」でありますが、その主題を鮮明に浮き上らせるために、出来得る限り都市幼児の保育と比較して、共通或いは反対の特色を捕まえようと試みました。それから直接調査の対象といたしましたのは、高田市周辺の新道・金谷・春日などの諸村の幼児四八二名と高田市内の幼児五四九名ですが、表を見易くするたために比率は大體、農村も都市も百分比に書き表わして比較しておりますから御諒承の上で御覧下さい。

一、幼児の遊び場について

第一表は家庭や地域社会で、幼児はどのような所で遊んでいるかというところを晴天と雨天の日に分けて見ました。

第一表 A

農村における幼児の遊び場所		晴天	雨天
屋敷	六六	家中のどこでも	五八
お庭	二二	お座敷	三六
田圃	三二	子供部屋	四四
山	二四	子供の場所	四四
校庭	一二	納屋	四四
公民館	一〇	蔵の雨屋	三三
往來	六六	役場の前	一一
神社	六六	火の見やぐらの下	一一
お寺	四四		
作業所	四四		
川原	三三		
山	二二		

第一表 B

都市に於ける幼児の遊び場所

都市に於ける幼児の遊び場所		晴天	雨天
往來	六五	家中のどこでも	七七
お庭	三四	子供部屋	一四
お寺	二四	雁木下	一一
児童遊園地	三三	子供の場所(往來)	三三
神社	二三	茶の間	三三
川原	九	納屋	三三
屋敷内	八	押し入れ	二二
砂利置場	三	蔵の雨屋	一一
ポンプ小屋	二		
校庭	二		
駅	一		

その結果都市の幼児の大部分が危険な路上や川原で遊んでいるにひきくらべ、広い家敷や自然の中で遊べる農村の幼児は、遊び場の点では恵まれていると申せましょう。

しかし大人の理解と愛情から生じた文化的施設の伴う児童遊園や、狭い乍

二、家庭で與えられている玩具について

第二表
A

草の実	お手玉	半紙	ビニールの紐	人形	色紙	帳面	クレオン	鉄	新聞紙	空箱	鉛筆	ゴム糊
六	六	六	六	八	六	七	八	八	八	二一	二一	二三
なし	ナタ	木刀	小刀	汽車	積木	飯事道具	畫用紙	木の实	木の葉	自動車	カルタ	おはじき
三九	一	一	一	二	二	二	二	三	三	三	四	五

都市の幼児が持っている玩具

新開紙	七〇	自動車	二四
鉛筆	六八	鯉昇り	二二
ゴム糊	六四	お手玉	二一
空箱	五六	紙風船	二〇
鉄面	五五	飯事道具	一九
帳面	五五	コマ	一四
クレオン	五二	お雛さま	一三
色紙	五二	汽車	一二
人形	三六	電車	一二
カルタ	三四	飛行機	九
ビニールの紐	三四	砂場道具	八
半紙	三〇	釣り道具	三
積木	三〇	バスケット	二
メンコ	三〇	小布	二
おはじき	二七	カバン	一
画用紙	二五	バラソル	一
		なし	六

幾種類ぐらいの玩具を持つてゐるか

農 村 都 市			
種 類	人 数	種 類	人 数
○	三九	○	六

二二二二二一一一一一一一一一
四三二一〇九八七六五四三二一〇九八七六五四三二一

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一一三二二四〇一〇三六八〇

二二二二二一一一一一一一一一
四三二一〇九八七六五四三二一〇九八七六五四三二一

〇〇〇三二二一五二三五四四七二五九六一五一六二〇

二五	二六	二七	平均一人 一、六三	平均一人 八、六三
〇	〇	〇	二五	二六
一	〇	一	二七	一

この表の結果に依りますと農村の幼児の玩具の数は非常に少なく、その中でも一番多く持つているゴム鞠でさえ、都市の幼児の約三分の一にすぎず、全体として、都市の幼児が平均一人で八個以上の玩具を持つているに対し、農村では平均一個から二個の間で、しかも全然玩具を持たぬ幼児数が都市六人に対し約六・五倍の三十九人という高率で、農村幼児の約四割が玩具らしきものを大人から与えられず暮らしている、という事実を示しております。

三、家庭で與えられている遊具について

第四表は同じく遊具の調査です。大きくてしかも比較のお金がかかりますので、都市の幼児もあまり多く持つて

いませんが、それでも都市では百人の中で六三人あまりが、兎に角何か大きな運動の出来る遊具を持つていますのに、農村の幼児は僅かに一・三人という低率を示しています。

第四表 遊具

都 市	農 村
三輪車 一七	ブランコ(手製) 六
ブランコ 一四	三輪車 四
野球道具 一四	スケート 四
木馬 一三	野球道具 三
スケート 一二	木馬 二
スキー 一一	スキー 二
おすべり 二	なし 八七
手押車 一	
なし 三七	

四、家庭で與えられている繪本について

第五表は同じく繪本の調査ですが、「キンダーブック」、「チャイルドブック」、「ひかりのくに」などの優良な絵本を買っているのは主として都市の親

達で、農村にはほとんどは入っていません。僅かに講談社の繪本が目につくだけです。それから、農村では繪本を月極めて毎月買うものが全然なく、時々買う、お土産に買うというのが僅かばかりあるだけで、全然買わないものが圧倒的に多く示されています。

第五表

都 市	農 村
チャイルドブック 四五	講談社の繪本 八
講談社の繪本 一九	その他 八
キンダーブック 一〇	なし 一〇
ひかりのくに 五	
その他 七	
なし 一〇	
月に何冊ぐらい買つて貰うか	
月に一冊 六三	月に一冊 一〇
月に二冊 二	時々貰う 一一
月に三冊 一	お土産に貰う 三
時々貰う 一七	買わない 八七
お土産に貰う 一四	
買わない 一〇	

五、第六表は家庭にある楽器について

ラジオは楽器のカテゴリーには入るかどうか少し変でもあります、兎に角文化の程度を計るの一のつよすがともなりますので一諸にしました。

第六表

家庭にある楽器の種類		
都市	農村	
ラジオ 蓄音器(普通) レコード ハーマニカ 木琴 太鼓 琴 尺八 笛 ギター アコーディオン 鐵琴 なし	ラジオ 蓄音器(並通) レコード ハーマニカ 尺八 琴 なし	七四 一六 一八 一五 七 五 三 三 二 一 一 二 二
	三三 九 一〇 一〇 四 二 六四	

以上の楽器の中で幼児が自由に使用させられているものは少ないと思います。けれども少しでも家庭の者に音楽的な関心がなければ、楽器が家庭内になくであろうという予測のもとに、持主は家庭の誰でもよいことにしてとりあげて見ました。ラジオも蓄音器も農村は都市の半数以下で、電蓄は皆無という結果が表れました。ハーマニカが割りあいにあるのが不思議ですが理由は解りません。

六、家庭で話される童話について

家庭でお話をしてやるかという問に對しては、第七表の結果が表れました。

第七表

項目	都市	農村
家庭でしてやるおとぎばなし		
毎日してやる	一	一
毎晩してやる	七二	一六
時々してやる	二六	八三
してやらない		

お話は都市でも農村でもまだ常識になつていないようです。保育所あたりでは、あのように毎日お話お話を求めます子供達ですのに、全然して貰えぬ幼児が農村には八三人もおります。都市でもして貰えぬ幼児が二六人おりますが、約三分の二はして貰つております。しかもこの調査は大体保育所に入所している幼児を対象としましたので、この程度になりましたが、家庭のよい幼稚園の園児を対象にしましたら、もつと都市では高率を示すことでしょう。

七、睡眠の習慣について

第八表

睡眠の習慣	都市	農村
誰かと寝る者	四二	九四
母親	二	一
祖母	五	三
祖父	四	九
兄弟姉妹	一八	七〇
その他	一	三
獨りで寝る者	五八	六

一つの床で誰かと寝るのは好ましくありません。殊に体温の低い老人と一緒に寝ることは幼児の体熱を奪われ、又精神的にも自律の精神がにぶつていけませんのに、農村では一つの床で母親と寝る子が多く、しかも母親よりも更に祖母と寝る幼児の方が多くあります。これは後に申し述べます農村の家族制度から生れている因習の一つですが、万年床と共になかなか改め難い習慣です。

都市の誰かと寝る者の中へは入つて居る幼児の中でも、畳数が不足しなければ独りで寝せたいと訴えている母親がありますので、実際の理解の程度はこれより高いようです。

八、子供が永く哭いて哭きやまぬ時はどうするか という幼児の躾け方について

第九表

子供が哭きやまぬ時の躾け方		項 目	都市	農村												
五月蠅いと口で叱る	抱いてやる	乳をやる	喰べものをやる	玩具をやる	お金をやる	父親に告げる	何処かへ行けという	口であやす	理由をきく	叩く	つねる	押入れへ入れる	蔵へ入れる	兄妹に頼んで遊ばせる	家へ入れない	ももんがあとにくれてやるとおどかさず
二一	八	〇	九	三	四	六	三	一	七	三	〇	二	〇	〇	一	〇
三一	一	二	五	〇	〇	三	五	五	三	八	三	五	四	二	一	二

此の表には全く面白いものが表れました。

母親の智性とまでは行かなくとも教養の差が鮮明に出ています。

五月蠅いと叱るものは都市にも相当ありますが、都市では哭いている理由を聞いてやる者が一七名ありますのに、農村では僅か三名しかなく、叩たく、つねる、押入れの中へ入れる。蔵へ入れるというような事柄を、農村の人達が隠し立てをせずに答えているところを見ると、そうした直接行動が幼児の人権を損ずる悪いことだとは考えていないようです。

煮て喰べようと焼いて喰べようと、子供は親のものだから勝手だ、という封建的な考え方がまだ根強く残存しているからでしょう。喰べものを与えて一時しのぎをする者も農村の方に多くありますが、「ももんがあとにくれてやる」と脅すあたりは全く無邪氣で微笑ものと思います。

九、清潔の習慣に對する調査として、床屋さんなどのくらいて連れて行くかという質問の答

第十表

床屋さんにどのくらいで連れて行きますか		都市		農村	
項	目				
月に一回ぐらい		五		三	
二月に三回ぐらい		三七		一一	
半月に一回ぐらい		三		〇	
時々思いついた時に		二五		二九	
お盆とお正月とお祭り		六		二三	
園に行事のある時		一一		一七	
お客に呼ばれた時		四		七	
お金のある時に行く		六		三	
家で刈る		三		〇	
子供が嫌ふから行かぬ		〇		三	

一〇、清潔の習慣に對する
調査として入浴について

「お風呂にどのくらい入りますか」の
問いに對しては、農村の入浴回数は珍

らしく都市より上廻つております。これは自家に据風呂を持つて燃料に困らぬ者が多く、又、自分の処で沸かさなくとも風呂貰いと称して。近所隣りの親しい家同志が交互に沸かして入浴しあう習慣がある故でしょう。土を耕す農業が必要から生じた習慣の一つです。季節に依つて変化があるのですが。農村では毎晩というのが一番多くあります。(ただし回数だけ多くともあがり湯の設備はほとんどなく、又入浴の仕方の方により多く問題があるのですが)それにひきくらべて都市では三日に一回というのが最高率で、しかも冬の間は一週間ぐらい入浴しないのもあります。農村でも冬になると一日おき二日おきというのが多くなつて来ますが、それは子供達が極寒になると入浴をきらいますし、又吹雪が貰い風呂に行く道を埋めて仕舞ためもあります。

第十一表

入浴の回数			
入浴回数	都市		農村
	春夏秋	冬	春夏秋
毎日	四	二	二七
一日おき	一〇	二	二八
二日おき	一二	二七	一一
三日おき	三九	二一	六
四日おき	二八	三六	三
五日おき	二	九	〇
一週間おき	〇	六	〇
時々	五	七	〇

以上で大体農村人の幼児に對する理解の程度をお察知いたうければ幸甚です。

都市幼児の保育

清水 桔梗

目次

- 一、都市の子供
- 二、都市幼稚園の保育
- 三、都市幼稚園の経営
- 四、むすび

一、都市の子ども

初冬とはいふものの小春日和のように暖いある朝のこと、私はとある幼稚園を訪ねました。この幼稚園は都市の幼稚園としては決して狭い方ではないのでしようが、それでもコバルト色の空が真四角に園舎でくぎられて、お陽さまの姿をほんの僅かの時間しか眺められないという幼稚園であります。

私が訪ねました時は、すでに芋の子を洗うように遊園一杯に子供が登園して来て思い思いに遊んでおりました。遊園が狭くて「何をして遊ぼうかしら？」と思案顔につゝ立つていたB子さんに、「あなたは何組ですの？」とたずねて見ました。B子さんははるかしがりもせず「〇〇組と答えました。」私は続いて「〇〇組で一強い人はどなた？」とたずねて見ますと、「Aさんよ。」

答えてくれました。私は興味を感じ、「それでは〇〇組で一番偉い人はどなた？」ときくと矢張り「Aさん」と。ついで「〇〇組で一番こわい人はどなた。」と、ききますと、すかさず「Aさん」と答えました。私はすつりAさんに興味を持ち「ではそのAさんのところへおばさんをつれて行つて下さい。」とたのむと。所在なさそうにつゝ立つていたB子さんはいそいそと私の手を引いて〇〇組の中へはいつて行きました。うす暗い部屋の片隅で数人の子供たちが、積木遊びと絵本の観察に余念がありませんでした。この群れの中に、広告の紙で三十糎程もあるうと思えるだまし舟を作つたのをもち、リスのよ

うに鋭い瞳をかゝりかせ、小犬のように少しもじつとしていないとても元気なのもしい感じのするAさんが交つていました。

私はこゝに都市の子供の代表としてこのAさんの三十分間の行動をありのまゝ記録して見ようと思ひます。それにはきつと都市の子供らしさが伺えます。

× × ×

九・四二分 大きいだまし舟を持つて、友達の折角積み上げた高い塔を足でこわし、机の上で絵本を見ていた四人の友だちの頭をポンポンとたたき、素早く廊下側の窓の敷居の上に猿飛佐助のようにとび上り、炭鉾節を唄い出した。うたい終ると持つていただまし舟をつき出し「これやるワ。お前等ジャンケンせい。勝つた者にやる。」と云つて敷居から飛びおり、一人の友だちに耳うちをし、ジャンケンの仕方を指示したらしい。自分の思うようにジャンケンが

出ないので「もう一回やれ」「もう一回やり直し」と五回ばかりやり直しをさせて耳うちをした友だちにだまし舟を与え、再び敷居の上にとび上り敷居に馬のりになつて又炭鉾節をうたい出した。

五・四七分

二三度両足を振つたかと思うと、とびおりてスキップをして部屋の内を二周し、途中で新聞紙で作つてある帽子を拾つてかぶつてきた。さつきのだまし舟を「かえしてくれ」と大喝して取りもどす。帽子をぬぐ。友だちに「お前のお道具箱はどれじや。これかこれか、」と足で一々道具箱を指して歩く。自分の道具箱を机の上に持ち出して鉄を出す。かぶつていた新聞の帽子をぬいで冠のような形に剪り出した。女の友だち一人男の友だち二人がそれを眺めている。冠にきれたので再びかぶる。机の上の剪り紙屑を両手床の上に落した。床の上紙屑を両手で集めて友だちに

「おいーこれほかしてこい。」と命令する。お道具箱を片付け、帽子を机のひき出しに入れた。机の上に腰をかける。腰かけたまゝ一人の男の友だちと話す。机の上に仰向けにねころぶ。うつむけになる。両足をピンコピンコあげる。首を右に左に振る。両手を大きくまわし。立ち上つて動き出し男の友だちのところへ行く。机にもたれて暫く休息。

九・五三分

「おいこの積木の後片付けをせよ。」とあごで呼びかける。「なんでこんなところへ積木をおいとくのんじや」と、とてもの権幕でおこる。両手さがつてゐる靴下を上にあける。靴をぬぐ。ほかけ舟(だまし舟)を与えた子供にわけもなくおこつて頬を三つたてつゝけにたゝく。左腕をたをたゝく。ちがつたグループの方へ行つて「おい片付けー」と又命令。だまし舟を持つて室外に出、遊園を一周走つて又部屋にはいつて来

にだまし舟を机の上において「おいまだか。早く片付けんか。」一人の友だちが机の上のだまし舟を一寸さわつた。「おいされつたらいかん」とおこる。机の上にねこるぶ。机のひき出しからさつきの帽子を取り出し眺める。大積木の箱のそばへ行つて片付けている友だちに大喝したので片付けていた友だちは驚いて一瞬直立不動の姿勢をとつたのでシーンとした。「まだまだ積木が足らん早よせい。」「これでよし。この大きい積木の箱はおれ一人で動かす。皆見て——」と、とても重い積木の箱を一人で部屋の隅へ押して行く。新聞紙の帽子のさをちぎる。「おい先生がみんなの前で又ほめてくれはるかもわかないからもつと片付け——」おれの力どんなもんや。まあざつとこんなもんじや。」と云い作らとう／＼全部積木を片付けてしまった。遊園からオルガンの音が流れてきた。友だちが「アツ、オルガンがなつて来

た。朝礼や。行こう。」と云つた。すると「ばか行くな。朝礼見たいなものせんでもえゝぞ。先生がお片付しなさいと云うていたから」。「矢張り〇〇組は頭がいい。」など愉快けに粘土作品のリングをいじる。

一〇・五分

とう／＼朝礼のすむまで部屋に居た。

× × ×

都市の子供は自由に遊ばせておけば、Aさんのように、自然からかけはなれた何となくいらした落ちつきのない生活をくりひろげるか、Bさんのようにたゞ手を拱いてぼんやり眺めているだけの生活より出来ないのではありません。

こゝに都市幼稚園の保育や経営の面に想像のつかない苦勞があるのでしよう。

二、都市の幼稚園の保育

都市幼稚園の保育で、現場の人たち

が最も留意しているのは、何と云つても「健康・安全で幸福な生活のために必要な日常の習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図る」ことでありましよう。がしかし、これだけでは充分とは云えないので、更に、身近の社会生活及び事象に対する正しい理解と態度の芽生えを養わねばならないと思ひます。

我が国の人口構成と食糧の關係を考へます時、寒心するものがあります。即ち、どうしても年々歳々二千何百万石かの食糧が不足しし、それを補うために生産を増強し、貿易を盛んにしてその代価で食糧を求めるようにしなければならぬことになります。又、一方我が国は平和条約の調印締結によつて、他国に随分多くの賠償をしなければなりません。新聞の報じるところによりますと、勤勞による賠償をするとか。

生産増強といふ、賠償といふ、いずれも健康な身体をもととしてしなけ

ればならない事でありまして、しかも戦争に何の關係もない次代の人々までが、その責任を果さなければならぬ立場に立つ關係上、現在保育をしている子供たちの健康については、国策の上からも都市政策の上からもゆるがせに出来ないところでありましょう。

都市の子供は、電車のきしり、自動車の警笛・トラツクの地ひききなど／＼によつてたえず神経をいらだたせられておりますから、幼稚園に於いてもAさんのように少しも落ちつきませぬ。殊に幼稚園では終日遊んでおりますから、ついつかりと休息させることを忘れますが、子供の遊心は反面から見れば立派な働きでありますから、氣をつけないと過勞になるおそれがあります。特に都市においてはまわりから神経をいらだたせられますから、是非休息を保育の大きい部分にしたいものであります。

大阪におきましては、事情の許す限り、疊敷の休息室、或は上敷を利用し

ての休息室をしつらえ、幼児用の毛布をかけて暫く横にならせているのであります。その間静かな音楽をきかせたり、先生のお話にうつとりさせたりすることもあります。僅か十分か十五分位の休息でありますけれど、実に落ちついてよろしいです。

都市におきましては、朝の視診——は子供の健康上実に重要な保育の時間であります。

何しろ芋の子を洗うように共同生活をするのでありますから、伝染性の病氣などにかゝると、たちまちひろがりますが、朝の視診で早期に発見しますと、病氣にかゝつてゐる子供も早くよくなりましますし、幼稚園に病氣がひろがらなくてよろしいです。大阪ではこの時を利用して、出席表に奨励印を押し、正しい言葉の指導と、子供とカリキュラムの計画を立てる時に充てゝいて、実に活潑で有意義な一ときを展開してあります。このため各園に看護婦を採用して専門的に視診を行つております。

手洗いの励行、食後の歯みがきのしつけ、など、日常茶飯事と思われることが実は都会に於いては缺くことの出来ない保健保育でありまして、これが身につくまでの保育者の努力は並大抵ではありません。

いよ／＼都市をあげて生産増強に邁進しようとしている今日、幼い子どもといえどもその線にそつて保育はすゝめられなければならないと思います。

けれども子どもに何が出来ましよう。生産の増強は出来なくても、せめて消費の節約はさせたいものです。

いつかこんな話をきいたことがあります——勿論アメリカの話であります——幼稚園に通つてゐる子供がお父さんにたのんで鶏を飼つていただきました。そして沢山玉子を産ませて、子供自身が隣村に売りに行き、その利益金で自分のクレオンを買い、お父さんやお母さんには迷惑をかけないようにしたと云うことです。

これに似たことがある幼稚園ででも

おりました。幼稚園に沢山にわとりを飼ひ、当番をきめてにわたりの世話を子供たちにやらせました。そしてうまれた玉子は当番の子供が持つて帰つて翌日のお弁当のお菜に持つて来るといふ仕組みであります。

子供の力でクレオンが求められたり、お弁当のお菜が出来たりすることは、たしかに消費の節約に關連を持つた生産増強ではありませんか。

共同募金月間に於いても、おやつ代を節約して赤い羽根を買い求める保育から、更に進んで自分の手で製作した木工の電車やトラックを、粘土で作つた木の葉皿を、厚紙で拵えた銘々盆を、地域社会に売つてその利益金で赤い羽根を買うなど、たしかに商工都市に相應しい生産保育が展開されています。

大阪では一寸身邊の社会見学に出かけようとしても、そこには必ず安全ということを考えねばならない事柄が沢山横たわつております。先ず、どうして道を横ぎろうか、どうして交叉点を

わたろうか、どうして自動車の洪水の中をきりぬけようか、と苦心しなければなりません。いくら保育者が幼稚園でこれらについての安全訓辭にしても駄目です。現場へ出ました時にはおど／＼して結局怪我はないまでも交通の邪魔になることがうまれます。そこで交通巡査に来ていたゞいて、交叉点のわたり方、道の横ぎり方、交通巡査の手の動かし方と行動の實際、などについてのお話をうかがうと同時に、園内で遊びの間にこのくさぐさのしつぺを交通巡査から、子供の得心のゆくまで保育していたゞきます。次いで實際通路に出て行つて、社会の人たちにもまじつて交叉点を渡るのを、道を横ぎるのを指導していたゞいて、身につけていたゞきます。

三、都市と幼稚園の經營

都市の幼稚園になくてならないのは、手洗場と水のみ場でありましよう。手洗場があつても、不便な場所に、

或は手のとどきかねるところにあればそれは無用の長物でしかないでしよう。又水のみ場のある幼稚園はあまりにも少ないのです。従来は湯槽にお湯を入れていくつかのコップを用意している幼稚園がありました。これは子供の保健上甚だよくない設備であることがわかりました。最近の話ですが——アメリカではこの湯槽による水のみを廃して、噴水式のみ場を用意し、万一コップの要する時には、自分自分のコップを使用して決して共用しないことに改めたので、少兒結核がへつたということであります。もう五年もすれば、アメリカには少兒結核が全滅するだらうとアメリカの權威者が云つておられます。この水のみ場を設備して各自のコップを使用するようになつたらであります。

砂ぼこりと煤煙の中に明け暮れすを都市幼稚園では、是非ともこの手洗場と水のみ場が必要であるとして、今大阪では大量になつております。

煤煙ですゝけた園舎は商工都市のもつ一つの特徴かもしれません、明るい朗かな子供たちの遊ぶ場所としては、如何にもうつとうしいことです。近頃動物園の檻でさえ、美しい色彩でいろどられているのです、況んや人間の子供を育てる幼稚園がすゝていていゝものでしょうか。殊に幼児期はすべての基礎が培われる大切な時期です。大阪ではだんだんまわりの建物に調和した明るい色が塗られてまいりました。

園舎が明るく塗られても所詮土一升金一斗の都会では、広い遊び場所を与えることが出来ませんから、どうしても郊外に出かけなければなりません。それにはバスの横づけを利用して出かれます。が、郊外に進出し自然に親しませるための保育者の努力は到底筆墨でつくすことの出来ないものがあります。フレーベル先生が、幼児を神の作品である自然に親しませることによつて、神に近ずかせることが出来ると云

つておられますように、いつかは偉大な自然の摂理と敬虔な気分を味わせることが出来るでしょう。

都市に於いては騒音を耳にすることは出来ても、静かな愉快な音楽的な雰囲気にしたることはできません。都会の子供は、小川のせせらぎ、小鳥のさえずり、水車ののどかなりズム等、農村の子供に恵まれているような、音楽のオワシスに接することは出来ないのであります。せめて幼稚園で遊んでいる間によい音楽をきかせてやりたいと、大阪市教委では昨年度、ピアノのない幼稚園全部にピアノを配給いたしました。戦災にかゝつてピアノのなくなつた園、新設園のためにピアノの購入出来ていない所に、揃つてとのえられましたから、幼児たちは、それはそれは幸福な一ときを持つことが出来るようになりましたが、更にラジオを通して、レコードによつて楽しい、しばらくを持たせようと、目下、園内放送設備の完備に腐心いたしております。

四、むすび

平和条約の調印もすみ、日本は今、夜明け前の厳肅な空気の中に、すべての文化は押しすゝめられております。都市の幼稚園もこの渦の中にきおい立つて、将来の日本を脊負う優秀な市民に育成するために、保育に、経営に、雄々しく邁進しようではありませんか。

(筆者 大阪府教育指導主事)



(モスコウ製菓工場労働者の子供のための幼稚園園外保育)

ソヴェートの就学前教育

小 川 正 通

一、はしがき

ソヴェートにおいては、就学前教育が相当発達しているといわれている。その全貌を知りたいものである。また知る必要がある。しかし資料が十分得られないので、そのアウトラインを把むことさえ中々容易ではない。

一体、その国情、社会組織と離れて、一國の教育制度は成立しないが、とくにソヴェートではレーニン、スターリンも、教育をもつて共産主義社会の目標達成に対する最重要手段であると、繰返し強調している。

ソヴェート社会主義共和国憲法(第百二十二条)には、男女同権を規定しつつ、婦人労働保障の観点からではあるが、保育所と幼稚園を整備すべきことにも言及しているのである。

以下で紹介するソヴェートの就学前教育は、ニューヨークにある「アメリカ・ソヴェート全国友の会」一九五〇年出版のパンフレット、エリザベス・モース著「ソヴェート聯邦の教育制度」—Elizabeth Moos. The Educational System of the Soviet Union 1950—の中から、その「第二章就学前の学校」の部分だけを参考のため抄訳したものである。その第一節は保育所、第二節は幼稚園となつてゐるが、簡にして要を得てゐると思う。

二、保育所

(一)

ソヴェートの子供に対する教育過程は、乳幼児期から開始される。もし母親が希望するならば、その子(三才以下)を保育所

に入れて、科学的保護を受けることができ
る。しかし本来、保育所の目的とするこ
ろは、男女同権に基づく女子の労働権の履
行にあるのであつて、子供の十分な保護が
保育所で受けられるならば、その母親は当
然安心して工業・農業・芸術・科学・行政
等の仕事に従事することができるであ
う。

あらゆる企業は、労働婦人のために保育
所を設けなければならない。そしてそのた
めの行政的、経済的責任も、関係省の指図
のもとに、企業自体に存するのである。し
たがつて集団農場・協同組合・都市アパ
ートビル・商業組合等の人民団体は、保育所
を設けることができ、費用はその企業が負
担しなければならない。またコミュニティ
イヤーの婦人達が保育所を要望しても、その
責任を負う組織がない場合には、健康省が
援助の手をさし延るのであるが、その際は
誰れによつて組織され、誰れによつて経費
が負担されるかは問われないのである。保
育所は健康省に属する地方保健局に所屬し
ていて、この地方健康局が健康所のプログ
ラム、設備、職員及び基準について、その
責任を負うことになつてゐる。しかし災

問題としては、その最低基準そのものに大
きな開きがあることが多い。なぜならば保
育所といつても、一つのビルの中に一つか
二つのグループがあるに過ぎないものもあ
れば、保育所単独の大きい建物をもつてい
るものもあるからである。また親と地方コ
ミュニティーのイニシアティブとは、
最低基準以上の設備を整備するに尽力し、
庶々親は自分の時間と金とをそのために寄
附しているのである。

(二)

保育所での保育時間は、母親の要求に適
するようにアレンジされている。したがつ
て夜間勤務の婦人のためには、一日二十四
時間開かれてゐる。以前には幼児をもつ母
親は、長期の夜間勤務は不可能であつた。
たとえ保育所の職員が愛情と母親のような
思いやりで保護にあたつたにしても、ソヴ
エート当局（政府）は、長期に互る親子間
の分離を避ける主義をとつてゐる。その理
由は、当局が保育所をもつて家庭の代用物
とは考えていないからである。しかるに二
十四時間保育所がこの問題を解決して、今
やソヴエートの母親は、ときどき終夜子供

から安心して離れることができるようにな
つた。

一般に職員の勤務時間は、看護婦と教員
が六時間、家事を担当する職員（給食と洗
濯担当）が八時間である。（もし乳児をも
つ母親である場合には、勤務時間中に授乳
しても賃金が差引かれない）食事、屢々す
べての食事が、保育所で用意されている。
親は食費をカバーするに足る代金を支払
う。（四人以上の子供のある家族では無料
である）

以上の他に保育所の職員としては、校長
（この地位のためとくに訓練を受けた）一
人、医者一人、保育所看護婦一人及び乳幼
児十五人毎に助手が必ず置かれねばなら
ない。しかし看護婦が二人か三人か、教員が
二人かそれ以上必要かについては、乳幼児
数がそれを決定する。そして全職員が時々
会合し、子供の扱い方に矛盾憤着がないか
どうかを協議してゐる。

(三)

保育所をソヴエート教育が、このような
地位に置いていることは、それが単に母親
の便宜以上のものと考えられてゐる証左で

あろう。保育所において、母親は整備された施設を知り、子供の適切な保護の仕方を学ぶ。さらにそれは希望であるわけであるが、家庭の基準をたかめるのに役立つであろう。その意味では両親教育のセンターとしての任務をもっている。屢々行われる相談や家庭訪問、また児童保護についての講義は、そのプログラムの一部分をなしている。

一種の教育活動は、乳児に対してさえ加えられている。四ヶ月の乳児にも運動が、一年半頃からは習慣養成に力が入れられている。また音楽と単純なリズムとは、保育所の年代から始まる。またここでソヴェートの子供は、集団の中の最初の経験を得るのであつて、高い椅子は一つの大きいテーブルの周囲に、三、四人の子供を収容できるようにしてあり、子供が食事をしたり遊んでいるときも、孤立してはばらにならぬよう考慮されているし、玩具も一幼児が使用するより以上のものが用意されている。ソヴェート保育所の遊戯室は、十二人以上が遊べるよう設計され、玩具や設備も集団活動を目標に考案されている。年長グループのために、完備した保育所と同様な構

成作業、即ち組立て積木・砂場・飼育動物・絵画・工作の材料等を用いた活動が行われている。

三、幼稚園

(一)

幼児が三才になると、保育所を終えて幼稚園に入る。しかしそれは単に他の室や同一建物の他の階へ移るに過ぬこともあり、全く新しい場所へ移ることもあるわけである。この移転は、できるだけ容易に行われるべきであつて、その重要性が十分に子供の発達の見点から、親と教師間の論議となつた。そしてこの問題に関しソヴェート教育についてのイギリスの権威者ビアトリス・キング夫人が、一九四三年に全幼稚園教員に送つた手紙を引用すれば、次の通りである。即ち「子供の新入園の準備は、三日乃至五日以上に亘つて、それが徐々に行われることが望ましい。こうすれば教師は各の子供を個人的に注意することが可能である——新入園児は暖かい愛情に充ちた受入れを必要とするものであつて、かくて幼稚園をば幸福な、興味ある場所と感ずるに

ちがいない」と。保育所の教員が子供と共に数日間幼稚園へ行くならば、この移転は非常にスムーズに進み、子供を安心させよう。通例、幼稚園教員は入園前にその子供の家庭訪問も行うことになつてゐる。

(二)

ロシア社会主義聯邦ソヴェート共和国の幼稚園法第一條によると、「幼稚園は三才児乃至七才児を全面的に発達せしめ、教育することを目標としたソヴェートの公的教育施設であり、それと同時にそれは労働婦人が国の工業的・文化的・社会的及び政治的生活に参加することを容易ならしめる」のである。

幼稚園も保育所と同じく義務的でなく自由意志的施設である。しかし幼稚園は各共和国の文部省がこれを所管しており、直接には地方教育局により支配されている点において、保育所と違つてゐる。けれども幼稚園が各種の団体によつて設置せられること、すべての工業的行政的企業によつて、その労働婦人のために設けられねばならぬこととは、保育所の場合と變りがない。親の支払う代金は食費を越え、大家族はその支払を

免除される。また保育所の場合と同様に、地方のインシアタイプが幼稚園の整備と設備の改善に資するところは多大である。

(三)

典型的な幼稚園は、幼児二十五人宛のグループ三つ或は四つで構成されていて、各グループは同年令児から成り、年少グループは三才乃至四才、中年グループは四才乃至五才、年長グループは六才乃至七才となっている。(註、ソヴェートの小学校一年生は七才からである)そしてグループ毎に一保育室をもち、資格のある幼稚園教員と助手とが、その保育に当たっている。先に述べたキング夫人は、幼稚園が通例美しく裝飾せられ、またたいいていは植物を栽培し動物を飼育する自然の場所を片隅にもつていと書いている。また日々の昼寝のため睡眠用のボーチや食堂や特別な音楽室があり、多くは庭園の設けもある。さらに健康の改善と發展とが、幼稚園の重要任務なので、バスと日光浴の設備もそなわっている。

「園児は親の労働と要求に基づいて、九時間・十時間或は十二時間保育されるが、九時間或は十時間が普通である。それによつ

て八時間労働の親は、子供をあちらこちらへつれて行くに足る十分な時間をもつし、同時に自分自身の勤務の要請にも応じられるのである。また親が夜間勤務につき、子供が終夜滞在する幼稚園では、特別室が設けられている。一般には園児に三食を提供するが、終夜留まるものには、四食を与える。さらに「健康教育が最も重視され、正しい食物・運動・衛生的習慣の養成を目ざした一貫した方式が、この年齢児にとくに配慮されている。園児達は戸外でとくに強い雨や風の日か温度が零下十度以下の日を除いては、四時間或いは五時間以上費すことになつてゐる」。

(四)

日々のスケジュールは、もちろん各年齢層で違つてゐるが、メデインスキー教授によれば、四才乃至五才児のグループのスケジュールは、次の通りである。

八時

夜も滞在している幼児が起きる。

八時—九時：毎日通園する幼児到着、朝

の検査、自由遊び、諸活動
休操

九時

：朝食

九時三十分：指導活動

十時三十分：見学(外出)戸外遊び

一時

：昼食

一時三十分

：昼寝

三時—四時：自由遊び及び諸活動

四時

：おやつ

四時三十分：散歩及び戸外遊び、毎日通

園の幼児帰宅

七時

：夕食

八時

：終夜留まる幼児就床

如何なる形式で遊ぶかということは、この年齢層の子供にとつて根本的なことである。「それは道德教育及び芸術教育の一手段でありまたそれは想像力及び知力を展開しかつ如何にして集団の中で生きるべきかを幼児に教える。しかしソヴェートの幼稚園では、遊びがフレイベルやモンテッソリが考案したようなひからびた、めんどろな抽象性をもつてなされてはいけない」。遊び或は「指導された活動」とは、歌うこと、ダンス、集団ゲーム、描くこと、造形及び工作を含んでいる。そして自由時間といふのは、幼児が人形或は他の玩具で遊び

或は、選択したどんなタイプの材料でも遊ぶところの時間である。それに対して「指導活動」の最も重要なものの一つは、言語活動であり、三つのグループ共に、ロ（言葉）の練習と語いを豊富にすることに多くの注意を払っている。しかしその方法はとくに新奇なものではない。見学と散歩も新しい経験を幼児に与え、ついで友達に話すために計画される。また教師は繰返し語られる話をし、学ばれる詩を話してやる。幼児も新しい話や詩を作る。幼児文学者は屢々幼稚園を訪ねて、自己の作品を読んで聞かせるし、園児向の新本の著作家は、自己の原稿をグループに読んで聞かせ、聞き手の幼児はそれに対してはつきり意見を述べるのであるが、若い批評家の言があんがい著作家に暗示を与えることも多いのである。また多くの時間が、自然科に与えられ

幼児は観察することを学び、周囲の世界について報告したり、気候の変化や動植物について報告することを知る。さらに年長グループには、*World* に対する準備的経験となる遊具が提供される。幼児はまた計算したり、測つたり、時間を告げることを学ぶが、形式的なレッスンはやらない。読方も

レッスンとしては教えられないのは、余り早く読方を授けることは、かえつて望ましいことではないからである。

(五)

子供の早教育を希望する親の傾向は、ソヴエートにおいてもアメリカと少しも變りがない。それで学校への準備について、「家族と学校」（一九四九年）の著者ボツオイツは、次のように書いてゐる。「多くの親はその五才児が、年齢相応でなく成人のように、読方、書方及び計算に興味を示すと誇りを感じるものである。しかしとかくする中に、この進捗は幼児のパーソナリティー全体の調和的発達とその可能性の全面的展開とを阻止してしまう」と。

各幼児のもつ可能性を展開することが、幼稚園教員の主たる目標の一つである。そしてソヴエートの教育者達は、グループに役立つメンバーとなる子供は、円満な人間でなければならぬと確信している。屢々幼稚園は「幼児集団」と呼ばれるが、その主要点は仕事と遊びを共にすることを学ぶこと、即ちなかよしと協力とにあるのである。しかし「集団」とは一樣な幼児達の單純

な機械的な結合であるべきでなく、各幼児が自己の興味と要求とをもつていなければならない。そしてこれ等の要求は、幼児と暖かい人格關係を保ち、親切な教師によつて最もよく充足される。なぜならばソヴエートの学校においては、子供がその幼稚園生活の全学年を通じて、同一教師の指導のもとにゐることは、さして難事ではないからである。一グループの大きさは、通例二十五人であるが、保育室が大きくかつ教師の他に助手もいる場合には、同時にもう少し多くの子供を保育することが可能である。幼児は幼稚園において、その覚醒時の多くの時間を費し、時には終夜滞在するのであるから、この種の個人的關係がとくに必要なのである。

さらに個人としての幼児への希望は、生活教育と手を握りつつ、集団社会へと進むことではなければならない。したがつて幼児は自然の障礙を克服した社会主義者の業績についての話を聞かし、ソヴエート陸軍の英雄の僚友精神について聞き、また各分野の建設的勞働のソヴエートの指導者も尊敬すべきことを教えられるのである。

かような幼年期において、社会的に有用

な仕事についての習慣と熟練とが、形成されることが望ましい。そしてその習慣養成のため用いられる仕事は、アメリカにおける就学前の学校の一部のプランと非常によく似ていて、それはテーブルを置くこと、ランチのサービスをすること、植物に水を注ぐこと、動物を飼育すること、材料を整頓すること、室を整理すること等々である。

(六)

幼稚園の職員は、文部省が任命しこの特殊な地位のために訓練を受けた校長、児童の発達についてのコースを経た小児科医、音楽教師、料理及び他の家事とを担当する職員によつて、構成されている。そして小児科医は常食と一般保健に関する日課とに責任を負い、彼の恐らくは彼女の——医者半数以上は婦人である——言は、休息とスケジュールに関して決定的である。それに対し全職員の会議は、健康と教育的プログラムの調整、医者と教師双方に一体として児童像を提供するのに役立つであろう。

(七)

両親教育はソヴェート幼稚園の任務の重要な部分となっている。各年齢グループの一人或は二人宛の親から構成されている「両親委員会」は、幼稚園の仕事に対し活発に参加する。即ちこの委員会は、教育的会合

を立案したり、親に対して建物を修繕したり裝飾したり、運動場を設けたり、遠足をやること等を計画準備する。また歴々親が保育室で工作やゲームの手助けさえも行う。幼稚園においては、会議・レクチュア・デスカッション等を行い、両親はそれに参加するようにすめられる。教師はまた幼児の家族の状況を熟知し、必要なときには具体的なアドバイスをするため、充分時間をとつて家庭訪問を行うことが要望されている。ソヴェート児童保護局が、親・学校の関係を二股に考えていることは、注目に値することであつて、「進歩的なソヴェートの親は、歴々学校当局に価値あるアドバイスをなし援助する」と公言している。また多くの幼稚園には、「親の席」が設けられ、そこでは親と子供用の本のリストや適当な衣服の見本や常食と健康についてのパンフレット等が、そなえられ利用できるようなつてゐる。さらに幼児の作品、とくに絵の模範が展示されている。

(八)

幼稚園は単に真正の共産主義者教育の一つの見本として役立つのみでなく、ソヴェートの著作家によると、ラヂオの話やレクチュアや学習コースを通じて、一般大衆間に教育宣伝用の責任をも負うべきである。一九四三年の戦時中には、園児数が百三

十四万人であつた。しかしこの数字は、遊び場や公園（註臨時簡易幼稚園）に出席した幼児数をも含んでいる。かような遊び場は、就学前学校施設の重要な部分となつてゐる。そして通例それは集団農場や田舎に繁忙期にだけ開設せられ、そのプログラムの大部分は水泳、散歩、ゲームのような戸外活動である。また夏の暑い期間中だけ、都市の幼稚園や保育所は田舎に移転して保育を行う。そして農村の集団農場の作業に時々幼児を親しませ、自然や農業の初歩的知識を与え、實際活動を経験させる多くの場合臨時的な遊び場は、普通の幼稚園がその夏期活動を行つて成果をあげたところの農場の婦人達によつて、価値あるものとして設けられてゐる。戦後五ヶ年計画の終期には、園児数五百万人を目標としてゐるのである。

(附記)

邦語の著作としては私の手元に次の二つがある。参考のため掲げて置く。

一、勝田昌二氏「ソヴェートの就学前教育」幼児保育講座第五巻——國民図書刊行會（昭和二十五年）

一、原著ソ聯邦教育人民委員部譯編概要通信社調査部「託児所制度」（昭和二十一年）

（筆者、奈良女子大学幼稚園主事）



アメリカ童話から

15

松原至大

わがままな雪だるま

それは、ほんとうに見事な雪だるまでしたよ。なんの不平もなさそうでしたが、そうではなかったのです。まつ黒な石炭の目は、きれいに輝いていました。頭には、帽子がちよこなんとついていたし、こうしじまのスカーフは、しずかに風にひるがえつていました。なによりもよいことは、ほうきの柄で、できた両腕の先に、栗鼠や小鳥にあげる御馳走のお皿がのつていました。

それなのに、この雪だるまは、ため息をついて、不平を言うのでした。

「夜も昼もここに立っていて、ぼくはあきちやつた。君のように飛んで歩きたいな。」
雪だるまの右腕にとまつていた四十からがこれを聞いて。

「おや、雪だるまさんが、飛んで歩くなんて、聞いたこともない。あなたは立派な雪だるまじゃありませんか？」
と言いました。

「君がそう言うのは、無理もないな。雪のない南の国に行くことも知らないような馬鹿な鳥君たちのために、君は一日じゆう、こうやつて食べものを持つて、立ちんぼうをしていなくてもいいんだからな。」

と雪だるまが答えると、四十からは

「あなたとつまらないことを言いあつて、大事な一日を、むだにはできませんよ。」

と言つて、どこかへ飛んで行きました。

間もなく一匹の栗鼠が、雪だるまの肩にのぼつて、左腕のところに来ました。そして忙しそうにピーナッツを突つき始めました。

「ピーナッツを、ほんとうに御馳走さま。おかげで、またぼくのお倉がいっぱいになりますよ。」

栗鼠は、ピーナッツをかみながら言いました。

すると雪だるまはいやな顔をして

「ぼくに、お礼なんか言わなくともいいよ。ぼくは思うようになるんだつたら、こんなところに立つてやしないもつと変つたことをするよ。」

と言うのでした。

「ぼくは、あなたがしているように、小鳥や子供たちを楽しくしてあげたら、気持ちがいだらうと思います。」

「なるほど。それはちがう、ぼくは、自分でなにか面白いことがしたいんだよ。」

栗鼠は雪だるまの言うことが、自分の考えていたこととちがうので、

「議論はやめましょう。とにかく、ピーナッツをありがとう。」

と言つて、自分のお倉の方へはねて行きました。

しばらくの間、雪だるまはひとりぼつちでした。そこへ、一匹の兎があらわれました。そしてこわごわ雪だるまに言うのでした。

「にんじんとりんごを、そりに入れて、どうもありがとう。」

「そりだつて？」

雪だるまは、目をまるくして言いました。「ぼく、そりなんか持つてやしないよ。ああ、それでこの気持ちの悪い網が、ぼくの首のまわりにかかつていたのか？ いや、とにかく、君は、ぼくにお札なんか言うことないよ。ぼくが知つていたら、にんじんなんか持つて来やしないよ。」

「ああ、そうですか。どうもお邪魔をいたしました。」

「早く行つておくれ。」

雪だるまは、まだぶんぶんしています。鬼はもうなにも言わないで、行つてしまいました。

暗くなりました。北風が、はだかの木のいただきを吹きはじめました。

「ぶるぶるぶる。ああ、冷めたい。一日ちゆう、氷柱のように冷えているのは、やりきれない。」

と、雪だるまが言いました。

「今晚は。」

と、元気な声がきこえました。「あなたは、わたしが会つた初めての雪だるまさんですよ。あなたは冬の名誉、霜一族の誉れですよ。」

雪だるまの前に、霜の ジャツク・フロストが立つていました。

「ぼくは、だれの誉れにもなりたくはないよ。なにか、面白いことがほしいや。」

雪だるまは、相かわらず不きげんに言いました。

「あなたは、とてもすばらしい時を送っているように、わたしには思えますよ。ピリーさんやベティーさんたち

と遊んだし、鳥や、栗鼠や、兎たちに、御馳走をあげたし。そのほかに、なにがしたいと言うのですか？」

ジャック・フロストは、こう聞きました。

「ぼくは、ほかのもののようにしたいのだよ。小鳥は飛べる。栗鼠と兎は、はねまわれる。ビリーさんとベティさんは、走ったり、遊んだりする。だが、なにより暖たまりたいね。子供たちは、いつも雪の中で遊んでは、暖たまるからね。こう寒くては、ぼくだつて、それがどんなものか知りたいね。」

「それは、無理ですよ。」

と言つて、ジャック・フロストは笑い出しました。

「だれにだつて、していけないことと、よいことがありますよ。雪だるまさんは、暖たまることはできませんよ。」

「それはそうだが、ぼく、やつてみたいよ。」

と、雪だるまは強情をはるのです。

「そうですか。では、わたし、あしたちよつと北の方へ行く用がありますから、わたしの留守の間、太陽さんにあなたを暖ためていただきますしよう。」

こう言つて、ジャック・フロストは、雪だるまの返事も待たないで、行つてしまいました。

雪だるまは、早く朝になればよいと思ひました。だが、その朝も、いつものように太陽は青く、凍つていました。道を通る人の足の下では、雪がざくざくと音をたてていました。

雪だるまは、がっかりしました。

「ジャック・フロストの奴、ぼくをからかつたのだ。」

と、にがい顔をしました。

けれどもその時、南の方からやわらかな風が吹いてきました。太陽の顔がはつきりしてきて、輝きだしました。その光線が、雪だるまに、じかにあたりました。

「これはいい。うれしいなあ。」

雪だるまは思わずひとりごとを言いました。

南風は、強さを増しました。太陽も、一層輝きました。雪だるまは、おつとりとして、やわらかくなつてきました。

「やつ、ジャツク・フロストの奴、ききすぎる。暖かすぎるぜ。こうなるとは思わなかつた。太陽さん、どうぞやめて下さい——あんまり暑くなるのは、やめて下さい。」

しかし太陽は、雪だるまには、少しも気がつかないのです。顔いつばいを輝かして、照りつづけるのです。雪だるまは、とろり、とろりしてきました。一本の腕が、だりりとしてしまいました。

「ああ、小鳥の食べものが落ちてしまつた。かわいそうに、あの四十からは、今夜、お腹がすくだろう。」
続いて、もう一本の腕も、だりりと下にたれてしまいました。ピーナツが、雪の中に落ちました。

「ああ、ああ、あの栗鼠は、どうするだろう？ ぼくの身体がとけてしまわない中に、ジャツク・フロストが帰つてくればいいな。」

雪だるまがこう言つたのを聞いて。

「わたしがお連れしましょう。」

と言つたのは、北風でした。そして木の枝をゆすつて、吹き出しました。

その音を聞くと、南風はどこかへ逃げてしまいました。やがて雪だるまのとけるのがとまりました。が、太陽がベッドにはいつてジャック・フロストが裏庭にあらわれた時は、見るもあわれな姿となっていました。

「いかがでしたか暖たまつて。」

と、ジャック・フロストが聞きますと、雪だるまは、しよんぼりと答えました。

「いや、どうも。もう御めんですよ。それよりも、小鳥と栗鼠の食べもの台が、どうなつたか、見て下さい。きつとお腹をすかしていますよ。」

「御心配はいりません。今晚、見事な雪を降らせますから。朝になつたら、ビリーさんとベティーさんが、また新しくあなたを作りなおしてくれますよ。」

ジャック・フロストが元気に言うと。雪だるまも今度は元気な声で。

「やあ、ありがとう。もう、二度とぼくは不平を言いませんよ。」

(グレイス・T・バーネット女史の作による)



冬期における幼児の保健問題

廣 瀬 興

幼児の死亡率の

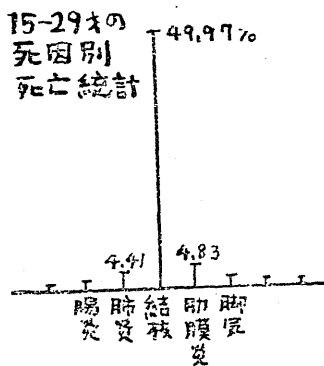
高率とその原因

我國には重要な保健問題が三つある。その中の一つは幼児の死亡が高率のこと。

我國の各年令別死亡統計を、欧米に比較してみると、一生中、最も死亡の少ない年令は兩者共、十二才であるが、我國の特徴は（図表）第一は十五才から三十才頃までに一つの高い山脈を現わしていること、第二は米國に比較してみると判るように幼児期のそれが鈍

角を示していること、即ち、幼児の死亡が米國の六倍も高い。第三は乳児の死亡は兩者共、最高であるが、我國は米國の倍であることの三つである。

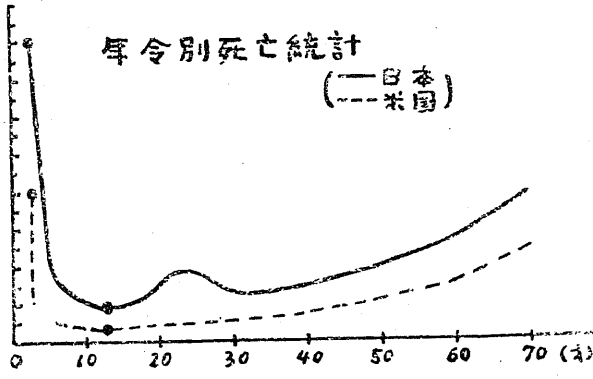
第一の山脈は青少年の結核のためであることは次のこの年令の原因別死亡統計で判る。即ち、最高は結核の四八・九％次はすつと降つて四・％の肋膜炎、しかし、これも大低は結核性であることを想像すれば全体の半分以上は結核死である。そして、その總数約一〇万であつて、結核病学によると、一



人の結核死亡に對し、一〇人の罹病者ありと云われるから、青少年の結核患

者は約百万人ありと推定されるのである。実に驚くべきことである。近頃は、戦争中、青少年へのBCG接種の普及

年令別死亡統計
(—日本国)
(---米國)



その他によつて、却つてこの山脈は低
年令の幼乳児期の方へ漸次移動の傾向
ありと云われている。それ故、今後は

一層、乳幼児の結核予防対策が重要と
なる。

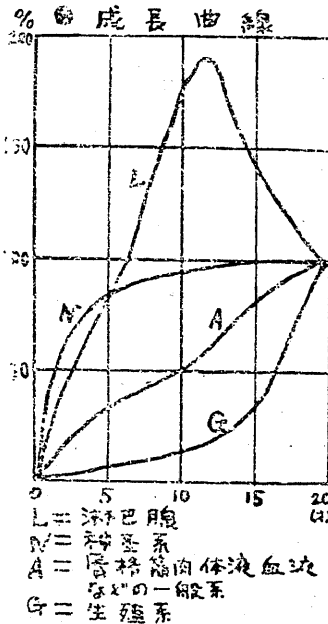
同様に、第二の幼児期鈍角の理由を
死亡原因で見ると、(イ)下痢腸炎(ロ)
肺炎(ハ)麻疹(ニ)百日咳(ホ)不
慮の傷害(ヘ)赤痢(ト)脳膜炎
(チ)結核(リ)腎炎(ヌ)ジフテリア
(ル)其他の順序に現れてくる。即ち、
下痢腸炎・肺炎・小

児急性伝染病が幼児
の三大死亡原因であ
るということが云え
る。

第三の乳児死亡の
高率なのは先天性弱
質、下痢腸炎・肺炎
の三つが原因であ
る。

何故乳幼児は死亡し易いか

かように、乳児と共に幼児がかかる
原因によつて高率の死亡を示している
のは何故であるか。それは乳幼児は発



育の途上にあり、生理的器官が未熟で
万事に抵抗力が弱いからである。
一体、吾々の身体発育はほど二十二
三才にて完成せられるものであるが、
生下時より完成期までに順当に滑らか
に發育するものでなく、且つ、生理器
官の種類によつて遅速がある。次にそ
の各生理器官の發育曲線を示すと。

即ち、神経系が最も速く、殊に脳髓
などは生下時には大人の1/4の三五〇瓦
であるが、一年にして大人の強1/2の八
〇〇瓦・四五年には大人と同重量にな
る。これによつても、幼児期の智能や

精神衛生の問題が重要であることが判る。胸腺、扁桃腺、其他淋巴腺系統の器官は十二三才にて二〇〇%にも發育しその後は却つて縮小し、二十才頃に普通の状態にもどる位である。次ぎが骨格、筋肉、呼吸器、消化器系の發育となり、最後に生殖器系は十五・六才より初めて急速の發育を遂げるのである。

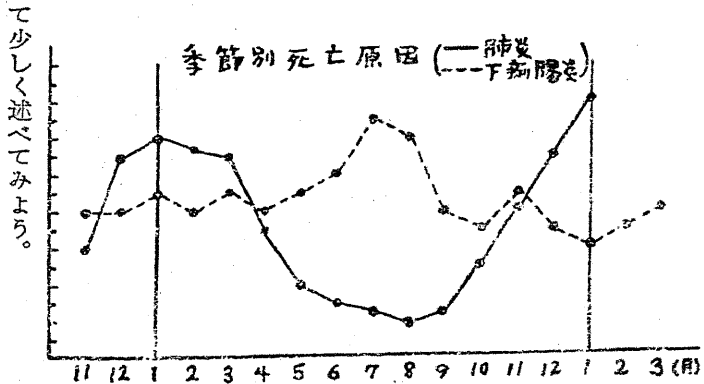
これらの性状によつても、幼児期の身体的精神的保護育成が如何に必要であるかを了解するであらう。そして幼児の三大死亡原因は云わば、死の直接の原因であつて、かゝる経過をとるようになった蔭にかくれた誘因即ち間接の原因が重要なのであつて、この誘因を除き、且つ抵抗力を高めることが肝要である。同じ幼児期にありながら、米国のそれと比較してみるとその間の消息がよく判る。

日米幼児死因別比較
(人口十万人につき)

	日本	米國	倍
下痢腸炎	四二・六	一四・六	三 倍
肺炎	二七・五	三・一	一〇 〃

麻疹 一四八・八 八・二 二 倍
赤痢(疫痢) 八・六 二・三 三 〃
百日咳 一〇九・四 五・一 二二 〃
髄膜炎 七五・一 四・九 元 〃
ジフテリヤ 三三・六 六・三 二〇 〃
結核 七九 一〇・八 一〇 〃
即ち、ペニシリンやスルフオン剤が発見されているに拘らず、肺炎は一〇倍、ジフテリヤの如き予防接種が完成せられているに拘らず一〇倍、赤痢の如きは四五倍に達し、しかも、疫痢の如きは我国特有で、アメリカにはないと云れている。

かように、乳幼児死亡の原因の中、肺炎の如き呼吸器病が冬期に於て第一位を占めているということは、梅雨期に下痢腸炎の多いのと同様、我国特有の気象影響が、蔭にかくれた大きな誘因の一つとなつてゐることを示している。従つて、幼児をこれらの疾病より守るには冬期の気象影響や環境衛生に堪えられるよう、常に鍛練しておくことが、肝要ということになる。それ故以下肺炎を中心として冬の保健につい



て少しく述べてみよう。
なぜかぜをひくか
— 寒冷乾燥に注意 —
我国は梅雨期の如く気温の高い時に

湿度が高く、反対に、冬の寒い時は乾燥しているのが特徴である。寒冷で乾燥していると体温の発散甚しく、脱熱し、新陳代謝が衰え、生理作用は不活発となり、抵抗力が減じ、病原体に浸され易くなる。かぜは一種のウイルス（濾過性病原体）による伝染病であるとされているが、このように抵抗力の弱まつたときには一層伝染の可能が強く、乳幼児の如く体表面が比較的広大で、しかも体温調節機能の不十分ものは易く伝染するわけである。体温調節機能は温中枢の命令によつて、主として、皮膚表面の汗腺よりの蒸発作用と、伝導作用と輻射作用にて行われる。従つて、寒冷で乾燥し、しかも、風が強いときは脱熱甚しいことゝなる。しかし、寒冷でも適當の湿度と、無風であれば放熱は防げる。この理窟がわかればかぜ引きも防げるであらう。即ち、平素より薄着の習慣をつけ、日光に親しみ、皮膚を空気に触れさせていれば、皮膚は鍛練され、気象の急

激の変化に会つても、皮下の血管は収縮し、汗腺は閉され、体温の放散を防ぐ。乾布摩擦・冷水摩擦の効果もこの理窟による。冬、火鉢やストーブで暖められ、高温乾燥している室より急に戸外の寒冷に触れば、また風邪を引くであらう。

幼稚園・保育所に於てはなるべく初めより室内を開放し寒冷の空氣に慣れさせておくべきである。保母は幼児が家庭に於てその点、如何なる生活をしているか、暖房装置はどんなか、よく觀察して注意してやることが大切である。幼稚園や保育所内だけの健康指導だけでは不十分である。

火鉢やストーブに注意

冬、小児の抵抗力を弱めることの一つに炭火や煉炭の一酸化炭素（ CO ）の影響がある。物が燃焼するときは必ず一酸化炭素ガスが発生する。このガスは炭酸ガス（ CO_2 ）より猛毒で、微量（ $0.1\sim0.2\%$ ）でも一—二時間の中に中毒が起

る。炭酸ガスの方は 5% 以上で始めて影響するのでそれは吾々の肺胞内には平素生理的に 5% を含んでいるからで、しかも室内を 5% 以上にすることは殆んどない。即ち、炭酸ガスの中毒ということは、普通は考えられないのである。

一酸化炭素ガスの中毒は個人差が強く、人によつてかなりの大量にも平気でいる人もある。しかし、乳幼児はすぐ中毒を起し易い。よく、炭火は真紅におこして座敷に入ればよいと思つてゐる人が多いが、あの青い焰や匂いはトリオールとか、ベンツオールとかの他の有毒ガスで、この（ CO ）ガスは、無色無臭無味無刺激で、最後まで発生し、室内に充滿していても気が付かぬのが特徴である。大人は室を出たり入つたりしているため、左程影響がないが、乳児や病人は室内にとじこもりがちであるから必ず、中毒を起してくるのである。室内で炭火にあたつてゐると起るあの症状である。初め頭痛・耳鳴り

嘔心・嘔吐・めまい・動悸・速脈・けいれん・呼吸困難・チアノーゼ・高熱・失心・心臓まひの順序であるが、冬、室内で炭火にあたったり、こたつに常に当つたり、ガスこんろを使用したりしているとき慢性中毒を起して、高度の貧血・常習便秘・頑固の頭痛・けいれん性・不眠・神経衰弱・記憶力減退などを来す。

乳幼児は抵抗力が弱くなり、かぜ引き易く不きげんで、食欲も不進、けいれん性となり、消化不良を起し易くなる。

このガスは赤血球のヘモグロビンと親和力が強く、酸素の三倍であるため、呼吸の際、肺胞内のガス交換のとき酸素の血球内に入ることを防げるためで、呼吸をしていながら窒息するのと同じで、所謂、「組織の窒息」である。

一酸化炭素ガスは〇・〇二%で二時間位で中毒が始まり、〇・三二%では三十分で致死する。ところが、燃火の煙の中には〇・一——〇五%、炭火の

ガス中には八・五%、お勝手の石炭ガス中には五——一〇%も含まれている。火鉢に顔をつつこんで当つたり、こたつにもぐり込んだりすることは有害である。煙突のない応接間のガスストープは最も危険である。完全燃焼など銘のある石炭ストープも煙突がなければ多量の有毒ガスが出ている。保育所の煙突のない煉炭ストープなどは危険である。

このガスの量的試験法は難しいが、室内のカナリヤや十姉妹がとまり木で不安定となり、開口呼吸するようになれば〇・一%、一〇——二〇分で落ちれば〇・一五%、電げき的に落ちるなら〇・二五%充滿していると云われている。

それ故、夜間寝床前に室を開放してよい空気を入れ換えること、らん間を開けて寝る、煉炭火鉢など他室に出して寝ることが肝心である。殊に呼吸器病、肺炎などのとき注意せねば却つて病氣は悪化し、ペニシリンの効も減退

する。我国で今尙肺炎の死亡率の高いのは案外こんなところに原因がある。

日光に親しむこと、

戸外で遊ぶ習慣

——案外多い潜在性くる病——

日光中の紫外線が吾々の骨發育に必要なカルシウムや磷の代謝に関係のあることは周知のことである。それは紫外線が皮膚に当たると皮下脂肪中にビタミンDが化生され、そのVDがカルシウムや磷に作用するのである。VDを含む食品は極めて分布が狭い故、是非、紫外線が必要で、しかも、紫外線は吸収され易く、障子・ガラス・衣服・雲・雨・塵埃・煤煙などにも吸収されるから理想的は直射日光でなければならぬ。一八〇〇米の高山(蔵王山)の山頂で晴天の時太陽からのエネルギーは七五%であるが、都市煤煙の多い所(品川・川崎)では二五%しか到達しない。如何に、途中で吸収されるかが判る。それ故、なるべく薄着し、膚

が日光に当つたり、空気に触れたりするものが理想的である。

日光が不足すると、体内のビタミンDが欠乏し、カルシウムや磷の代謝に変調を来し、骨形成が悪くなり、くる病が起る。従つて、くる病は冬期に発病し易く、北海道・北陸・東北地方の特殊病とされているが、鹿児島のような暖国にも相当に多く、近頃は東京でも一二月頃からしばしば発見される。それは戦後、離居・アパートなど北側住いが多くなつたためであらう。即ち、くる病は北国に限らず何処にもあり、それは家の住み方如何の問題であることを忘れてはならない。吾々は、園児がどんな住み方をしているかを観察すべきである。心ある母親ならば寒くとも小児を戸外に出すことを忘れない。

定型的な病とまで進行しない潜在性くる病が多く、顔色青く、瘡が強く泣き虫で、こめかみに汗をかき易く、けいれん性である。極めて抵抗力

弱く感冒にかゝり易く、しかもすぐに深く進行して気管支炎、続いて肺炎を起す。くる病がすゝむと、関節痛を訴えたり、頭蓋の一部が軟く、圧すと、ペコ／＼セルロイド状の感がする。更には胸廓がくびれて横溝を生じたり、肋骨の胸骨に接する部が腫れて上部から下部へと念珠のように外から望見することが出来る。又、背柱や脚が彎曲する。腹部が膨満し、頭が大きくなる。こゝまで進行すれば立派なくる病である。

このような体質を防ぐには冬期でもなるべく戸外の日光に親ませること、肝油やビタミンADを与えることが大切である。戸外につれ出せないような弱い児や病後の児殊に乳児などには日光浴室や人工太陽燈を利用することになる。日光浴室のガラスは紫外線透過ガラスを使用せねば効果は少い。セロファン紙をガラスの代りに使つてもよい。セロファンは結晶性で紫外線を通過させる特性をもっているから、工夫

すれば家庭や保育所で簡単に理想的な日光浴室が出来る。

冬期の入浴、乾布摩擦、薄着、寢巻を着換える習慣

入浴は、冬期には寒いため、つい回数が少くなるが、出来るなら度々させる方がよい。保温にもなり、疲労の回復にも役立つし、そればかりでなく、冬期の皮膚の鍛練には最もよい方法の一つである。入浴後、冷水や乾布摩擦すれば皮下の血管の収縮、開張など皮膚の体温調節機能を敏感ならしめるであらう。朝夕の冷水摩擦など乳幼児には実行困難であるが入浴直後の摩擦は少しの注意で出来るはずである。

衣服も肌着は皮膚に硬く密着しないようなゆつたりしたりしたもののがよい。寒いため夜屋同じ毛糸のシャツを着通させるのはよくない。冷い寢巻に着換える習慣が望ましい。

× × ×

— 合理的の栄養

ビタミンの補給

偏食の見はかぜを引き易い。栄養素に缺陷があるからである。何んで食べるようにしておかぬと抵抗力が弱まる。冬は脂肪が多くカロリーの高いものが必要であると同時に、ビタミンA D豊富のものを摂らせるのが肝腎である。VDの必要は已に述べたが、VAも病氣殊に伝染病の抵抗力を強める性質がある。魚の内臓・鳥獸の肝臓類・有色野菜（人参・ホーレン草・大根葉・南瓜）の中に多量含まれている。保母は特に小兒の偏食に注意して家庭と連絡しその矯正に協力するがよい。偏食の原因にはいろいろあるが、近年、蛔虫寄生のためが多いから駆虫を忘れてはいけない。

冬期は幸い、寒冷と乾燥のために、梅雨期の如く感染率は少いが、それでも、かく慢延が甚しくなつては冬でも安心が出来ない。近頃は感染経路の最

も多いのは野菜と塵埃だと云われている。学童の鼻汁中から虫卵を発見するようになつては、手洗い位だけに期待をかけてはおけない。二ヶ月毎位に駆虫剤を与えるほうが賢明であろう。検便して虫卵を証明しない小兒に駆虫剤を与えてみると、二・三%駆虫されるから検便の結果だけで安心しておつてはいけない。

感冒、流感、ジフテリア

百日咳の豫防

感冒といつてゐるのは一種のウイルスによる小流感であるから、もし、保育兒に感冒が流行し始めたなら、平素弱い兒は登園させないようにするがよい。咳の出る兒はマスクをかけさせるのも一策である。

流感はインフルエンザ菌による伝染病でこれも今のところ予防することは困難であるから、もし、流行のけはいでもあれば一時閉園するより方法はない。

ジフテリアは冬期に多いものであるが、幸い予防接種が相当に効あり、近年は法律によつて乳兒期に第一回を接種している筈であるが、もし未接種のものや流行期には今一度する方がよい。保育兒全体について各々の予防接種の有無と日時（種痘・百日咳・ジフテリア・BCG）を記録しておくべきである。ジフテリアは発熱と扁桃腺腫脹と白苔、犬吠状の咳、顎下腺の疼痛などが初発症状であるが、鼻腔ジフテリアは症状が軽く、微熱、鼻汁が膿血性で鼻孔がただれる位で気がつかずにいることがある。却つて保菌者として他の子供に伝す恐れがある。

百日咳も全保育兒に予防注射しておかなければならないが、勿論完全のものでなく、多量にばい菌をあびれば伝染しうる。もし、保育兒に發病したものが出たなら、余程注意して広がらぬよう注意しあやしいものは登園を遠慮させねばならない。無熱でイキむような咳をし、殊に夜間多いこと、日増し

に咳の数が多くなつてくる。食欲が不進となり、嘔心が出てくる。だんだん発作的にするようになってくればすこぶるあやしい。マスクをかけさせ注意して観察し、医師を受けさせ、なるべく早く登園を禁止させる。今は百日咳もクロロマセチン・ストレプトマイシンで軽症の中に治すことが出来るようになって誠に幸いである。百日咳は母親に保菌者が多いから注意が肝要である。

肺炎、喘息、しもやけ

肺炎はペニシリン、スルフォン剤によつて、著効があるが、平素、虚弱の見・偏食の見・離乳期の見・ツベルクリン反応陽性の見などは注意せねばならない。安静と栄養が看護の要諦で、前述のように、余り室内に水蒸気を立て高温高湿無風として人工的梅雨氣象状態にしないこと、却つて天気でもよければ室を開放してよい空気を入れてやる。鬱熱状態が禁物である。しか

も、肺炎のため、一層、酸素が必要なのに、炭火や煉炭小鉢で一酸化炭素を室内に充満させたならば、ペニシリンでも治すことはできない。保母は家庭訪問して、かゝる誤つた看護を発見したならよく指導してやらなければいけない。

喘息も冬期に多く、殊に真の喘息でなく、喘息性気管枝炎所謂小児喘息は近年一層多くなつたような傾向がある。一つの過敏症で、その原因不明のものが多い。氣象の影響・食物の關係・塵埃の多い環境・蛔虫症いろいろであるから、医師を受けて手をかえ、品をかえて早く治し、発育の遅れないよう心掛けねばならない。

しもやけは生命には關係がないが、幼児は不活発となり、神経質となり間接に発育に影響してくる。早くよりビタミンADを十分補給すること、手足を清潔にし、就床前、手足をなるべく熱い湯にしたし、よくマツサージすること、カンフルチンキを塗ること、

AD軟膏をすり込んでおくことなど効がある。潰瘍となつたら、ペニシリン軟膏・AD軟膏・ダイヤジン軟膏を塗布して化膿を防ぐようにする。

二月ともなれば、近く小学校に入学する幼児もあるのであるから、トラコ1マの如きものは勿論、今より健康に十分注意して新しい社会生活に順応することの出来るよう注意してやることが肝要である。

(筆者・醫博・母子愛育会福祉部長)

第

日本保育学会

日時 昭和 27・5・25 (日)
午前9時—午後4.30

場所 名古屋市
市立保育専門学院講堂
詳細は会員各位に御通知いたします

東京都港区麻布盛岡町一の五
愛育研究所内
日本保育学会

日教組第一回

全国教育研究大会参加記

山下俊郎

くし差で相談して作製して全国各府県に流した問題は次のようなものであった。

一、幼児教育の実態

1 幼児の育てられる環境

例えば家庭、小地域社会、教育機関等

2 幼児に与えられる文化資料について

例えば玩具、絵本等

3 幼児教育者の技術について

例えば、科学の芽生えに対する助長の

方法、言葉の練習等

4 諸外国と其の比較

二、幼児教育の施設、機関

1 幼児教育施設、機関とその収容率、

施設の数と収容されている幼児の数

の比

日本教職員組合が従来の組合運動一本だけでなく、さらに一歩ふみ出し教育の実際的研究の結果をめざして最初の試みとして催した第一回全国教育研究大会は、十一月十・十一・十二日の三日間、日光町で開かれた。この全国教育研究大会は、あらかじめ委嘱された各大学教授、研究所員、教育評論家等からなる講師団によつて、各分科会毎に問題提出を行い、この問題によつて、各府県毎に教育研究大会が催され、その成果を持ち寄つたものである。したがつてこの大会の何よりの成果は学者グループと教育実家の結びつきによつて、研究面に新しい方向を展開し得た所に在る。

大会は全部で十一の分科会に分かれていたが、この中に第九分科会として幼児教育に関する分科会が持たれたことは、幼児教育に関心を持つ者にとつて、見のがすことの出来ない、そして誠に有難いことであつた。私は第九分科会の講師団の一人として、その準備から参画したので、ここにその概要を報告して見たいと思う。

二

この大会の第九分科会のテーマは「幼児教育の現状とその打開策をいかにするか」というのであつて、講師としては、功刀嘉子氏・羽仁説子氏とわたくしが参画した。そして七月からは教組の中央執行委員でこの分科会の責任者である吉川久夫氏とわた

2 設備の現情

例えば部屋、職員数、楽器、遊び施設と子供の使用率

3 職員について

例えば身分、給与、研究時間及施設等

4 後援機関、例えば、P・T・A、設立者等

5 その他

三、幼児教育振興策

1 家庭生活の改善

例えば母親への教育、社会教育関係者の活躍等

2 社会の協力

例えば一般社会人の子供の保護、子供の遊び場所、玩具製造者、絵本製作者等への指導、児童文化関係者の指導、協力、社会環境の整備等

3 施設の改善、増設

経費、法的な保護（児童憲章、児童福祉法の実施程度）

4 教育関係者の努力

三

前に述べたように全国大会に先立つて各府県で研究大会が催され、そこで発表された中から選りすぐられた研究が府県の代表研究として大会前に事務局へその報告が届けられていたのであるが、多くの府県の研究は提出された問題の全部にわたっているものがなく、その焦点を一二の問題に集中して掘り下げたものは少なかった。

大会三日間のうち、第一日午前は総会の講演であつたし、第三日はやはり総会で各分科会の報告であつたので、第九分科会としての研究は、第一日の午後と第二日全日の合計一日半にわたつて行われた。分科会の司会者としては、前記吉川氏、三重県龜山小学校の辻博也氏、秋田県末広小学校の大里隆一氏の三人が当られ、講師として第一日にはわたくし、第二日には功刀氏とわたくしとが出席した。

まず全体的な感想から述べよう。いままでいろいろな保育関係の大会・研究会・講習会に参加したわたくしの感じからいうと、出席者の中に男性の校長・園長がほかの会合にくらべて多いことと約三分の一が小学校の校長教諭であることがめだつてい

ていつもの保育関係の会合とちがう、しかし熱心な空気が流れていた。しかし今度の大会の分科会としては、女性が圧倒的多数を占めているので、非常に和やかな分科会であり、第三日の総会での分科会報告も栃木県代表としての宇都宮大学附属幼稚園の井上初代さんによつてなされ、十一分科会代表者中の紅一点として異彩をはなつた。

研究討論は非常に真剣でまことに快いものがあつた。他の分科会では組合の斗争気分がぬけ切れず、野次を飛ばしたり、他の発表者の発言を十分に聞かないでやたらに自分の意見を固執するような傾向の所もあつたということであるが、幼児教育の分科会は、冷静で、和やかで、研究的で、真剣で、幼児教育を自分自身の責任として研究する幼児教育者の使命感に裏づけられた快い分科会であつた。

四

分科会として各府県から寄せられた研究はそれぞれの府県において、熱心に研究されたものではあつたが、一日半で分科会としてのまとまりを得るためには、問題の焦

点を集約する必要がある。そこで司会者と講師との協議で、第一日は家庭教育の問題、第二日は幼児教育施設の問題について討議することとし、それ／＼参会者にはかつた上賛成を得て、このようにすすめることになった。

第一日の家庭教育の問題については、まず栃木県代表から農村における幼児の現状、家庭の現状についての報告があり、神奈川県から農村保育所を中心とする家庭教育改善の実践報告がなされた。そしてこれに連関して、茨城・宮城・香川・岐阜・愛知・北海道の各県から、それぞれの県における家庭教育の現状の報告があつて、結局家庭教育改善のためには家庭生活の改善が急務であることが明かにされ、その具体的方法についての研究討論が展開された。その結果、参加各県から多彩な意見が述べられたが、要約すると次のような点が問題となることが明かにされた。第一は家庭生活の封建性の打開である。祖父母の横暴、男性の無理解、女性の無自覚を是正する必要がある、母親学級・家庭訪問・講演会等による母親教育と広くは社会とくに農村社会

全体の改善が急務である。第二には生活様式改善が必要であり、そのために、新生活運動が必要である。第三に幼児用の文化財の不足を整備することが必要である。そしてこれらの具体的方法について、いろいろの具体的体験の発表がなされた。第一日の最後には、第二日の問題への発展の足場として、東京都の研究発表があつて散会した。第二日は、幼児教育施設の問題についての研究であつた。まず最初に、幼稚園保育所というような問題にとらわれることなく、日本の全幼児の教育という観点から、研究討議をすすめることを申合せて、鳥取・岩手・佐賀・島根・兵庫の各県の現状についての調査報告があり、それらを足場として午前午後にあたつて活潑な意見討論が行われた。非常に多彩な意見が述べられたが、結局、幼児教育施設の貧困を救うために、幼児教育の義務制へすむというのが、最も効果的な方法であるという結論に達した。そこで幼児教育の何年間を義務制にするかということについて、いろいろと論議されたが、理想はともかくとして、現在における現実の可能性からいつて、ま

ず就学前一年の幼児教育を義務制にするという運動を起すべきであるということになった。しかし漠然とした目標では駄目だから、具体的に何年の間に実現を期するかということについてもいろいろ意見が出たが、五カ年の間に実現を見ることを目標とすることとなり、その五カ年計画の詳細の具体案を作ることを日教組に小委員会を設けてこれに具体的推進を委ねることになった。さらにこれに連関して、平衡交付金の問題、公立学校の利用・教師養成の問題・小学校と連関するカリキュラムの問題なども論議され、参加各県で努力を結集することになった。また、文部省内に幼稚園課を設置して、幼稚園専任の視学官を置くことを建議し、各都道府県教育委員会に幼児教育専任の指導者を配置するよう要請しようということも申合わされた。

以上が、今回の大会の第九分科会の概況であるが、ここでもいろいろと研究された結論についていろいろ実行上の困難が伴っている。これを如何に打開するかということが、わたくし達に課せられた今後の大きな問題である。

アメリカだより

サンフランシスコに上陸したのは九月二十九日で、数日そこで過してから、バスでオースティンへ三日の旅をして到着しました。こゝはテキサス州の首都ですが、政庁と大学しかない静かな美しい街です。ちよつとフォスターの音楽を思い出します。数ヶ月前には、原生省保育課長の吉見静江氏もこゝへ来ていらつしやいました。

さて私は主に心理学的な研究のためにここに來ているのですが、そうしたことを中心にすこし感想をのべてみましょう。

☆

アメリカでは臨床心理学と言う分野が日本とはくらべものにならない位發展してゐて、その背景には多かれ少かれフロイド学派のにおいがいたします。ですから幼児期の精神的發育が正常であるか異常であるかが最も大きな問題の一つになつてゐます。臨床心理学は行動の異常をとりあげている学問なので、こうした幼児期の生活体験と、その差によつてどう人格の發展がちがつて来るかを鋭く追求

してゐるのです。そうした事は、ひいては精神衛生の重要問題になります。

しかし、こゝまでは最近日本でもとりあげ始めていますが、次のこと、つまり、もつと理論的な基礎的なことも、意外に思う位に徹底的に研究されている事は注目すべきだと思ひます。たとえば教育の勉強するために、数学の勉強をもしなければならず特に、心理学を専攻する場合そうした単位をいくつもとらなければならぬのです。私のいる、テキサス州立大学は、実験心理学者として世界的に有名で、しかも物理学者でもある、ダレンバック教授がこうした方面の指導者だから尙更なのでしょう。

☆

もう一つ面白いと思つたのは、この大学では、談話、話し方と言うことが重視されてゐて、それを専攻するすばらしい学部がある事です。デバートメント・オブ・スピーチがそれです。正しい国語、そうしてその表現方法がこんなにも大事である事を私は忘れていたような気がします。心理学的に言つても、言葉を覚えるのは特に幼児期が最も重要で、こゝにはスピーチ・クリニックと言うものさえあつて親切にその

相談にのつていますが、英語の下手な外国人の爲にも色々便利な計画を立ててゐます。こゝにはメキシコ人その他スペイン語しか話さない外国人が多いからなのでしよう。実は私も大いにそのごやつかいになつてゐます。

☆

私がこつちで得たお友達の人であるP嬢は、今いつしようけんめいに英語を知らないメキシコ人の子供たちに英語を英語しかつかわなで教えてゐます。こうした直接法をとると子供の場合になおさらのこと早くしやべれるようになります。彼女はこゝのスピーチ専攻の学生ですが、日本へ行つて日本の子供たちにも教えたいと言ふ夢をもつてゐます。彼女をむかへてあげる幼稚園か保育園があるかしら。

さて、英語のことはともかくとしても、日本語のスピーチのこと、もうすこし幼稚園や保育園で考えるといふような気がしますが、どうでしょうか。スピーチだけで大学の一つの専攻単位になつてゐるこの国がうらやましいと思ひました。

☆ Texas U.S.A. 相場均

調 査 結 果 に 就 て

☆

幼児にとつて絵本は大切なものであることは申すまでもありません。幼児はこれによつていろいろの生活経験を得ます。絵画に対する興味を持ち、想像の世界に遊び、創作の意欲を助長することは勿論読書のレディネス（準備）となり、絵を通してものごとを理解するなど幼児にとつて必要な諸経験を学びます。ですから絵本の性格によつて幼児の諸経験が左右され、その生長発達に影響されるといっても過言ではありません。即ち絵本の内容が充実して居つて、発展性を持つて居れば幼児の経験も豊富になり、その経験を発展させてゆくことができますしよ

うし、それが単に所謂興味本位のものであつたならば、手にした時は喜ぶでしょうが、豊かな経験を持たせ、その得た諸経験を発展させてゆくことは望まれないでしょう。けれども一方幼児の教育は幼児の興味を通して指導されなければならない事は云うまでもありません。ですから教育的価値があると考えられても、幼児が全然興味を持たないものは教材として望ましいものではなく、また教育的価値をうみ出すことも出来ないものであるといわなければなりません。このことから幼稚園の先生方や、保育所の保母さん達や、家庭のおかあさん方がどんな絵本をよい絵本として選ぶかということが幼児の教育において非常に大切な問題となります。けれどもよい絵本を選ぶことは仲々困難であります。例えば、自分達がよい絵本であると考えたものが果して幼児に取つてよいものであるかどうか、興味があるだろうと予想した絵を幼児も同様に興味を持つかどうかということは常にそれに関心を持ち、研究して居らねばわかりません。

☆

次にどのような絵本を出版するかというこ

とは出版社が決定することであり、私達はただ出版されたものの中からよい絵本を選定するに過ぎないともいえましよう。けれども一方、出版にあたつてはそれが社会の要求にあつたものでなければ企業もなりたず、成功もしないと云うことができません。このことから幼稚園の先生方や保育所の保母さん、家庭のおかあさん方はどのような絵本が望ましい絵本であるか、どういふ絵本を必要として居るかということを出版社に伝え、一方出版社はそのような要求を常に知つてそれにそつたものを出版する必要があるといえましよう。需要の側は其の意向を供給の側である出版社に伝え出版社はその需要者の要求を満たしてはじめて双方とも満足する結果に到達することができましよう。そしてこのことは現在日本で幼稚園保育所をその対象として居る絵本にあつて特に必要なことだと思われます。

☆

以上の様なことを考えて簡

千葉大学附属幼稚園主事

宮 内 孝

単な絵本の調査をやつて見ました。このうち後者についての調査は相当具体的に調査して見ましたが、發表を遠慮した方がよいと考えられる点も多々ありますので、此処では發表してさしつかえないものだけに限ることとし、前者に重点を置いて、それと連関づけてまとめて見ました。従つて此の發表は一貫性を欠き、要点がばやけてしまいました。計画もづさんでありますし、いろいろの事情から準備もよく整いませんで不備の点も多々あると思ひますので、諸先生方の御指導を御願致します。

一、幼稚園での絵本の利用法と、 よい絵本についての調査

先ず幼稚園の教師がどのように絵本を利用して居り、どのような絵本がよいと考えて居るかということを次の様な方法で調査して見ました。

(1) 質問紙法により、免許法認定講習に出席した千葉県内の幼稚園の先生四五名(一八校)の人々に答えてもらいました。

(2) 直接に調査目的や、各項目の意味、記入の方法などについて説明して間違のない

ようにしました。

(3) 此処でいう絵本とは、現在各幼稚園で幼児に一律に持たせ或いは推せんして居る絵本の意味に限定しました。

(一) あなたはどのように絵本を利用していただきますか

これは幼稚園で幼児に持たせている絵本の

第一表

利 用 法	一九才以下		二〇才一		三〇才一		四〇才以上		合 計
	教諭	助 教諭	教諭	助 教諭	教諭	助 教諭	教諭	助 教諭	
A 主として家庭で利用させる			一	三		一			五
B 主として教材として利用する			二		二				四
C (A)と(B)を同等の比重で併用している	一		四	一〇	五		二		二二
									三一

解答は四五名中三一名で、解答のない者の大部分は幼稚園で一律に絵本を持たせて居る人々でありました。

(C) の併用が圧倒的に多いので理由を調査して見ましたら、此の中には絵本が来るとすぐに家に持たせて帰すが、幼稚園で若干冊備えて置いて、それを教材として利用するようになつて居るけれども、はつきりした指導

利用法に対する質問で

(A) 主として家庭で利用させる。

(B) 主として教材として利用する。

(C) (A)と(B)とを同等の比重で併用している。

の三項について聞いて見ました。その結果は第一表の通りであります。

計画の中に取り入れて利用して居らない人々が入つて居るためこのように多くなつて居るのであるということがわかりました。

(A)と(B)とは殆んど同数で、(A)は殆んど助教諭であり、(B)は全部教諭である点も注意すべきでしょう。

(二) どのような絵本を必要としていますか これは二つの対しよう的、又は反対の項目

について私見をのべて見たいと思います。

「幼児に興味のあるもの」と「教材として役立つもの」を分析しますと、幼児に興味のあるものは同時に教材として役立ち、反対に教材として役立つものは同時に幼児に興味があるものであると、幼児の特殊性から考えられましよう。けれどもまた幼児に興味のあるものは必ずしも教材として役立たず、教材として役立つものは必ずしも幼児に興味のあるものとはならないでしよう。此処で問われているのは後者の意味に於いての興味を中心か、教育的価値に重点を置いて考えるかと云うことなのであります。従つて、此処に表れた三七対七と云う数字の解釈は、「教材」として役立つものとの対比で表わされている「興味」はどのような意味のものであると考えられたか、幼児の「教材」は「興味」を度外視しては教材となり得ないと云うことが考えられたか、興味ということばが十分分析されて理解されて居つたかどうか、などの諸点を考え合せなければならぬと思います。

(三) 最も望ましい繪本の條件を三つ擧げて下さい。

これは前の(二)の調査と異つて、自由に

繪本として最も望ましい要素を問うて見ました。

。その結果は第三表の様になりました。

第 三 表

位 順	條 件	員 数
1	美的価値、色彩の鮮かなもの	三四
2	幼児に興味のあるもの	二三
3	生活指導を含むもの	一二
4	子供の心理をとらえたもの	一一
5	幼児に興味あり且つ教材として入れられるもの	九
6	簡単な物語を含んだもの	五
6	製本のていねいで長持ちするもの	五
8	生活に根ざしたもの	四
8	理解しやすいもの	四
8	実生活に根ざしつゝも豊かな夢を持つたもの	四
8	内容に年令差をつける	四

※されます。なんとすれば、色彩の鮮かなものは幼児の注意を引き、興味をとらえるものであると考えられますので、此処に表れた結果の1・2・4共に同一意味。即ち興味を意味して居るとも考えられるからであります。

「美的価値があり、色彩の鮮かなもの」が三四で第一位、「幼児に興味のあるもの」が二三で

第二位で、此の二つが他の条件をはるかに引離して多数の票を集めて居ります。

第三位は「生活指導を含むもの」の一二、第四位は「子供の心理をとらえたもの」の一であり、此れによつて見ますと、教育的価値のある繪本であると云うことになりましよう。けれども第二表の結果を考え合せますと、幼児に興味のあるものが最もよい繪本であると大多數の人々が考へて居るとも解釈※

二、教師がよいと考えた繪は

幼児も好むだろうか

教師がよい繪本であると考えた繪本は、幼児に取つて好きな繪本であるかどうかといふことは、幼児の教育上大切な問題であります

何となれば、幼児の特性から考えて、興味を基礎としない教育はなりたないと言つても過言ではないからであります。そしてまた、一、の調査でもわかるように現場の先生方は幼児の興味ということを中心に考えております。従つて絵本についても教師がよいと考えた絵本が同時に子供にとつても好きな絵本でなければならぬ。そこで教師の見方と幼児の見方とが一致するかどうかという事は誰も知りたい事であると思います。けれどもこれを知ることは甚だ難しいこと、云わなければなりません。数冊の絵本の中からよい絵本を一冊選び出すことは、教師に取つても仲々むづかしい事であり、まして幼児についての調査は、長い時日を要し仲々困難な仕事であると言えましよう。それで、こゝでは便法として、絵本の中の個々の画面をとり出して、それによつて調査して見ました。勿論、絵本は何枚かの絵が組合され、綜合されて其の価値が判断されるもので、個々の絵を単独に取り出して評価しても絵本の評価にはならないことは云うまでもありません。けれども此の調査の意図は、教師と幼児との見方の一致不一致を、絵本を手がかりとして知るにあるの

第 四 表

繪本の 符 号	O		I		P		Q	
	男	女	男	女	男	女	男	女
保育別								
二年保育	1	2	3	7	0	3	4	6
一年保育	4	11	8	15	1	8	11	18
二年保育 一年	3	7	13	7	1	4	16	10
計(人員)	8	20	24	29	2	15	30	34
%	25	41	75	59	6	31	94	69
男 女 計 (人員)	28		53		17		64	
%	35		65		21		79	

ですから、便法としてやつて見ました。

☆

このやり方は、夫々異つた出版社から発行されて居る四冊の絵本(共に九月号)を皆ばらぐにして、二頁続きの一枚の絵とし、(一冊分が五枚になりますので二十枚出来たわけです。表紙は別にして加えない。)これを一室に展示しました。そして先生方(前と同じ四五名)に、それ々自己の絵本に対する考え方を基準として、一番よい絵と最も好ま

しくない絵とを選出してもらいました。

一方幼児の調査は、千葉大学教育部附属幼稚園の園児八一名について行いました。先ず先生方が一番よいと評価した絵(O)と、一番好ましくない絵(I)とをならべて、どちらが好きな絵であるかを問ひ、次に二番目によいと云つた絵(P)と、二番目に悪いといつた絵(Q)とをならべて、此れも同様に調査して見ましたら次の通り(第四表)の結果が出ました。

☆

此の表によつて見ますと、教師が最もよい絵であると判定した絵(O)を好きだという幼児は、男子では三二名中八名(二五%)、女子は四九名中二〇名(四一%)でした。

此れに對し、教師が最も好ましくないと判断した絵(I)の方を好きだと答えた幼児は、男子三二名中二四名(七五%)、女子四九名中二九名(六九%)となつて居ります、次に教師が二番目によいと云つた絵(P)と二番目に悪いと云つた絵(Q)については、教師と同じもの男子三二名中わずかに二名(六%)、女子四

九名中一五名(三二%)でした。

此に限られた、そして特殊な調査の結果から、一般的な結論を導き出すことは甚だ危険でありますし、また不可能な事であつて、その様な事をくだてることは取るべき態度ではないと考えられます。けれども私はあえて次の二つのことがらを問題としてこゝに提出して見ました。

(1) 絵に対する教師の好みと、幼児の好みとは一致しないでむしろ反対であります。この事實は、たとい先生方に、幼児の好む絵を選んでもらつたわけではないし、また幼児の態度の信頼度も考慮されなければならないとしても、一、の(二)と(三)に於ける調査に示された教師の絵本に対する考え方を考慮し、一方教師の見方に対する幼児の反対の見方が六五%と七九%と云う事實は、われわれに對して一つの問題を提供したものと解すべきではないでしょうか。

(2) 男子と女子とは異なることであります。即ち女子は教師の見方により近似し、男子はよりかけはなれています。女子が教師の見方と反対なものは五九%と六九%とであるに對し、男子は七五%と九四%という数字を示し

ています。これは現在の幼稚園の先生方に反省の資料を提供すると共に、幼稚園の先生は女子でなければならぬという社会通念や、幼児の家庭教育は母親まかせである日本の父親に對する子供達の暗黙の抗議であると受取ることが出来ないでしょうか。

☆

一人のいたづらつ子が、きれいな庭に迷い込んで来ました。この庭は公園や、公園として解放された庭に似ては居りましたけれども、普通の公園など、違つて、誰でも入ることのできる庭ではありませんでした。それですからあまり荒されてはおりました。そして、模碁替えもあまりされないようでした。けれども、雨や風には時々荒され、ついさき頃も颶風にありました。大修理をしなければならぬらしいようでした。その庭の中に池がありかたわらの立札には絵本の池と書いてありました。

子供は、その池の面があまり静なものですから、ついついたづら氣を出して、かたわらの小石を拾つて池に投げ込みました。小石はボチャンと音をたて、小さな波紋を作りました。池の中の鯉や、鮒や、金魚等はこの時ど

うしたでしょうか。またその庭の管理人の人や、持主はこのことについてどう考えるでしょうか。

(二六・一〇・二八)

官廳公示連絡事項

幼稚園教育理解のために

— 小学校学習指導要領社会科篇の改訂 —

幼稚園教育のねらいとしている

「園内において、集団生活を経験させ、喜んでこれに参加する態度と協同、自主及び自律の精神の芽生えを養う。」

身辺の社会生活及び事象に対する正しい理解と態度の芽生えを養う。」

指導から小学校教育のねらいとしている

「学校内外の社会生活の経験に基き、人間相互の關係について、正しい理解と協同、人間相互の關係について、正しい理解と協同、自主及び自律の精神を養う。」

郷土及び国家の現状と伝統について、正しい理解に導き、進んで国際協調の精神を養う。

日常生活に必要な衣、食、住、産業等について、基礎的な理解と技能を養う。」

までに發展していく過程を明らかにするとともに、小学校教員に幼稚園教育を理解させ、幼稚園に就学した幼児にはその経験を生かした指導がなされるようにするため、このたび小学校における学習指導要領（コースオブスタデー）が改訂されたのを機会として、その各篇に幼稚園の項を加えることになった。

これはたんに小学校の教員ばかりでなく幼稚園の教員も十分研究して、これを教育課程の構成や指導に生かしていく必要がある。以下社会科篇に示されている幼稚園の項と小学校第一学年の項とを摘記してみる。

「このころの幼児は好奇心が強く、手足や感覚器官を盛んに動かして周囲の事物に触れたり、その名前を知りたがり、用途を知ることに興味をもつたりする。自己を強く主張し、じぶんのしている事をじやまされれば強く怒るというようなこともあるが、社会的協同性もしだいにめばえてきて、他のこともと協同して遊んだり仕事をすることを好むようになる。ことに、ごっこ遊びを好み、これによつておとなの生活をまねることに興味をもつ。まだ想像の世界と現実の世界とがじゅうぶんに分化していないので、ごっこ遊びによつておとなの生活を細かいところまで忠実に表現しようとはしないし、使う道具などもきわめて簡素なもので満足し、たとえば積木に用いる木片を押しやり引いたりして、汽車や電車を動かしているつもりになつたりするが、このような遊びを通じて、おとなの仕事や事物の用途などをしだいに理解していくのである。幼児たちはこれらの経験を言語や絵画によつて表現することは、まだじゅうぶんにできないか、ごっこ遊びが最もよい学習の方法であろう。」

したがって幼稚園では、おうちごっこ、おきやくごっこ、お店ごっこ、乗物ごっこなどによつて、おとなの仕事や、周囲の事物の用途などを、ごくおおまかに、初步的に理解させるとともに、次にあげるような生活態度を養うことをめざすべきであろう。

○仕事のしかたをよく守る。

○仕事をやりとげる。

○自分から進んでやる。

○材料や道具を分け合つて使う。

○物や道具をたいせつにする。

○遊び方や道具の使い方をくふうする。

○ひとと仲よく遊ぶ。

○ひとの物を大事にする。

○順番をよく守る。

○ひとに迷惑にならないように静かにする。

○憤みのある動作や態度がとれる。

○ひとに親切にする。

○公正に遊びや仕事をする。

○責任をもつて分担した仕事をする。

○ひとに協力する。

小学校第一学年

「一年の児童は盛んに、手や足を動かし、感覚器官を通じて周囲の人々や事物に触れようとする。そしてそれらの名前を知りたがり、その役割用途についても簡単なものは知ろうと努める。特に始めて学校にはいつたので、通学の途上でも、学校の中でも、目に触れる事物はみな珍らしいのである。

いずれにせよ、かれらはあらゆるものに好奇心をもち、それらについて知り、それらと親しもうとしている。そしてひとたび自分の家庭以外の学校や通学路上で触れる人や事物について知つたり、友だちの家庭の人々と知り合つたりすると、新しい関心をもつてじぶんの家庭をながめるようになるであらう。

したがつて、家庭や学校などで接する人や事物について、児童相

応の知識理解をもたせ、これに慣れさせ親しませるには、どうすればよいかということが、一年生指導の重点であらう。

目 標

○おとなはみな何かの仕事をもっている。

○家の人たちはみな何かの役割をもっている。

○親は常にこどものために配慮している。

○家ではわたくしたちの衣食住など毎日の暮しの世話をしてくれる。

○家の人々は植木、作物、家畜などの世話をしている。

○人々は家庭や学校でみんなで楽しい生活をするためにいろいろな行事をしたり施設を設けたりする。

○互に親切を尽し合えばわたくしたちの生活は楽しくなる。

○規則をよく守れば楽しく遊ぶことができる。

○注意して物を整頓したり、飾つたりすれば、家庭や学校をもつと美しくすることができ。

○家庭や学校では健康と安全のために必要な施設を設けている。

○からだがじょうぶであると、楽しい生活ができるようになる。

○人々は種々の交通機関によつてゆき来したり、物を運んだりする。

○ほかの人といつしよに生活するためには時間をよく守ることがたいせつである。

○ほかの人といつしよに生活するためには、決して人に迷惑をかけてはならない。

(文部省初等中等教育局)

会から

○二月の窓を開けば
風が寒い。窓を閉ざしつゞけると室内の

空気が悪い。殊に火鉢などを用いているとき、二酸化炭素が健康を害する。窓一つ、あけようか、しめようか。先生の氣ばたきはこまかい。

○二月の保育室には必ず、寒暖計が備えつけられなければならない。しかし、備えつけてあつても、見なければ備えつけてないのも同じである。見ても、標準の度が分つていないと、見ないのと同じである。これわれているに至つては室の裝飾にもならない。

○晴れた日のテレスに日だまりの暖かさを樂める設備は、洋風建てには一つの必要といつてもいい。それが無かつたら、何とか設備したい。大工さんに一日も働いて貰えば容易にできるだろう。先生方にだつてむつかしい仕事ではない。ビルグリーム・コツテーザ風の極く簡単なのでいいし、却つて趣きがあるだろう。先生は不器用でも困るが、不精では困る。

○庭のぬかるみは、子供を室外不出にさせ

る大障礙だ。雪解けの大ぬかるみは別として、毎日の霜解け位は、一寸した用意で何んとかできそうである。子供の靴を泥で重くさせて、だからお部屋に閉じこもつていなさいというのにといつても、空は紺青のきさらぎ空に晴れて居り、霜の多い朝に限る、特別にばか／＼と日が照つて居る。

○二月は寒い／＼というが、末頃になればそろ／＼春の来るのを感じさせる。その早春の訪れを迎える用意もほしい。早咲きの梅の木の本一位ほしい。アスファルト庭で木が植えられなければ、梅の小鉢の一つ二つ、迎春使として南の窓においてやりたい。若し、南斜面のところでもあつて、草の芽が楽しめる仕かけになつていたら、早春のために門をあけておいてやるようなものだ。それらの待ちもうけて子供らと共に、春の若神を迎えに出でまし給う先生の楚々たる歩みの、いと／＼みやびにいますことよ。二月の女神ともいおうか。

○二月鍛練も、新興小國民の保育に必要かも知れない。しかし、ぬれ足袋保育、凍り弁当保育、こわれ障子保育、せきコン／＼

保育、などは、タンレンを越えるかもしれない。少しはレンタン保育を加えても、子供を弱くする所以ではあるまい。

○毎年の出欠表を出して、二月はどうも風邪欠席が多いのが通例ですとおつしやるがそのかぜをひかせる保育法が通例という訳でもあるまい。幼い子供の病氣は、まだまだ、おとなの不注意からですぞ。その不注意なおとなの中に先生が居ては申訳ありません。二月の感想です。

幼児の教育 第五卷 第二號

定価 金五拾円

昭和二十七年二月二十日發行

東京都中野区千光前町一〇

編集者 倉 橋 惣三
發行者

東京都文京区大塚町三十五

發行所 日本幼稚園協會
お茶の水女子大学附屬幼稚園内

東京都千代田区神田神保町二ノ四

發賣所 株式會社 フレーベル館
振替東京一九六四〇番

○本誌の購読について注文申込その他はすべて
所フレイベル館宛願います

保育科生徒募集

募集人員 保育科三〇名

願書受付 昭和二十七年一月十日より三月十四日迄
出願手續 左記の書類に受験料六〇〇円を添え学校宛提出 1人学願書 2出身学校の調査書

(注意) 国家の行う進学適性検査を受けてゐない場合は本学に於て受験する事が出来る、願書と同時に申出ること

受験の方法 1、期日 昭和二十七年三月十五日(土) 午前九時より 2、受験地 東京都及近県の定

刻迄登校可能の出願者は本学にて、他は各自の母校に依頼して行う 3、試験課目 ①国語(漢文なし)、②理科(物理、化学)生物、地学の四課目の内一課目を選択し解答する、

表 三月二十日日本人宛及第共に通知する。

卒業後の資格 幼稚園教諭二級普通免許状が得られる。

寮の設備あり、なお詳細は本学試験係宛郵券一〇円封入の上入学案内書を申込まれたい。

昭和二十七年二月

東京都世田谷区松原町二丁目七一七

日本女子體育短期大學

電話松澤(32)〇一一一番

新 發 賣

お茶の水女子大 戸倉ハル 共著
東京教大附小 小林つや江

わらべうたあそび

A5判
四十六曲収録
色刷美本
定価二二〇円
〒 一二円

古来のわらべうたの粹を集めて分類し、そのうたい方とあそび方を詳説したものの。

お茶の水女子大 戸倉ハル・東京教大小林つや江共著

うたとあそび

四六倍判一八四頁
定価三二〇円
書留送料 六五円

著者多年の経験と蘊蓄を傾倒し、幼稚園及小学校低学年用の教材の粹八十曲をあつめ、これを春・夏・秋・冬の四に分類配当し夫々の曲についての解説とこれに独創的なふりつけを詳説したもので絶好の保育資料として各地の講習会等に於て讃辭を頂いています。表紙七色刷・扉等三色刷・美麗製本

東京教育大学教官 中島海著

遊戲と リレーレース

B6判二四二頁
定価二〇〇円
送料三五円

●多年の蘊蓄を傾倒してものした、遊戲に関する理論及び實際指導の權威書。運動会参考資料として好適

東京教育大学教官 中島海著

鬼遊びとかけつて

B6判三三七頁
定価二五〇円
送料三五円

●遊戲研究及実地指導に不可欠の好著。

東京都文京区 大塚仲町二

株式 不味堂書店
会社
電話大塚二七〇三 振替東京六八七三九番

3 月 号 予 告

観
察

キンダーブック

繪
本

第 6 集

KINDER-BOOK
〔人 形 の 国〕

第 12 編



☆自己創造にたえまない

幼児のために是非与えたい☆

A 4 判・12 頁・月一回発行
はさみ頁・解説付
定価 40 円・送料 8 円

「人形の国」

友達を愛することを教えるのは大切な教育です。しかしまた、友達からよく愛されるように育てるのも教育でしょう。教育というと堅くしくなりますが、与えると共に、快く受けることこそ愛の楽しさです。誰れをも愛せよと訓えるのは修身です。多くの人に愛されるようになるのは幸福です。人形遊びが愛の修身の機会になるのも貴いことです。愛の幸福の経験になるのも喜ばしいことではありませんか。

発行所

東京都千代田区神田
神保町二丁目四番地

株式
会社

フレーベル館

東京座口振替
番 一六四〇番